

プランニング

パーツ集

Ver.160703

製図試験.com 付録

プランニングパーツ集の位置付けと目的

■プランニングパーツ集のワークショップでの発見

エスキース帖の延長として名古屋、東京と大阪でプランニングパーツ集のワークショップを行いました。実は、私自身、パーツ集のビルトアップは、個々人でやるものであって、セミナーで教えるものではない、と考えていたのですが、要望が強く、実際にやってみて驚きました。私自身が一番学ぶものが多かったからです。

製図試験.com では、読解してポイントアップし、方針を立てて、ゾーニング、コアゾーニングからプランニングに進むというプロセスをとります。

ゾーニング段階で3案程度考え、本命のものをコアゾーニングし、スケルトンイメージを作る。そのスケルトンイメージがしっかりできていれば、あとはパーツを放り込んで、微調整。これがプランニングのフローイメージでした。

その最後のパーツサンプルの見本として、この方法論を作り上げた堀内正昭氏の名を冠にしてホマノートというパーツサンプル集を作っていたのですが、この部分については、皆さん頑張っただけ、ということでは終わっていただけです。

ところがところが。

パーツ集を作るためには、2つの大きな壁があり、また、その壁こそがプランニング習熟の鍵だったんです。その鍵とは、

- 1) パーツ集をくみ上げる上で、プランニングするためのルールを理解していないとパーツがビルトアップできない
- 2) パーツ集はエッセンス。つまり選択後のものであり、取捨選択しパーツ集を作ること自体に大きな価値があるが、そのプロセスはパーツ集を手にするだけでは共有できていない

そのため、プランニングルールの解説及び取捨選択のプロセスの再現を何らかの方法で行わなければ力がつかない、ということがわかりました。

■プランニングルールの解説

これは次ページ以降でご説明します。また動画も作成予定です。

■パーツ集作成手法の共有化

今回、パーツ集を作成するに当たり、52枚の解答例を使って、作成しました。同じ種類の建築物であっても全く同じ管理部門はなく、管理部門だけで52通りあるわけです。しかし、実際のパーツ集にまとめたものには52種類ない。つまり、似たようなものは省いたわけです。

大阪ではこの作業を受講生の方々と一緒にやりました。ワークは2時間くらいでしたが、この取捨選択をやると見えてくるものがあるわけです。52匹の動物を縦覧し、これは鳥類、これは4足歩行、これは草食、これは夜行性、というようにカテゴリーを変えては、並べ替えてみる。この作業を体感すると、カテゴリー自体が見えてくるわけです。

しかし、費用と時間の関係から、この作業によって、まとめられたものが、今、あなたが読んで「プランニングパーツ集」であるわけです。

では、あなたがこの取捨選択の疑似体験をするにはどうすればよいか。2つ案があります。ひとつは、あなたが持っている全図面（もしくはこの52枚）を使って、同様のことをやるか、このパーツ集を軸に、毎回の課題を解きつつ、このパーツ集に付け加えていくか（太らせていくか）です。

やり方としては、前半戦では前者を、後半戦であれば後者の方法を採用することをおすすめします。なぜなら、その年度にしかないパーツもかなり存在するからです。

■プランニングパーツ集の位置付けと目的

このプランニングパーツ集は、あくまでまとめてあるだけで、まだあなたの身についていません。是非、持ち歩いては、トレースし、変形させ、プランニングの文例集のように暗記していきましょう。それがこの教材の最終目標です。手で考え、手に覚えさせてください。

製図試験.com 代表 山口 達也

プランニングルール

考え方から実際のコツまで 10 点にまとめました。

<ルール 1> 動線とゾーニングが守られていること

どんなにいいパーツを持っていても、動線とゾーニングが守られていないプランは合格できません。プランニングに入る前のゾーニング段階で、動線図による動線とゾーニングの確認が大前提となります。

<ルール 2> スケルトンイメージを育てること

どんなにいいパーツであっても、コンクリートで打設する部分＝スケルトン状態での建築物が、ガタガタでは、いいプランニングは難しいです。コアゾーニングの段階で、コア・吹き抜け・大空間（柱抜き）・外形を決定し、その状態で中間検査を受けるような気持ちでスケルトンイメージを育ててください。

<ルール 3> シンプルでコアをつないだ共用部を計画すること

あなたが計画するプランは新築です。極力シンプルな共用部が求められています。またメインコアとサブコアをつないだ共用部がその建築物の軸となります。

<ルール 4> 共用部にはできるだけ死角を作らないこと

あなたが計画する建築物で事故や犯罪が起こらないために、死角を極力作らないことが求められています。

<ルール 5> 1 コマコア背面外壁ルール

1 コマコアは、その背面への動線が取りにくく、死角を作る原因となります。そのため、1 コマコアは原則外壁を背面にすることを前提としましょう。(2 階部分の外壁ということもあり、ピロティや屋根等でかわせる場合もあります)

<ルール 6> 2 コマコアルール

外壁につけられないコアを計画する場合は動線とセットになるため、階段と EV を分けて、2 コマで配置します。また EV が故障だった際に、階段の位置がわかるよう、2 コマ以内に EV と階段をセットで計画します。

<ルール 7> 大空間配置ルール

当たり前ですが、大きな要求室は、できるだけ建築物の奥から配置するようにします。手前や真ん中に計画すると邪魔な存在になり、動線の引き回しの原因になります。

<ルール 8> 廊下柱付きルール

できるだけ独立柱は作らないで、廊下は柱に付けて計画します。

<ルール 9> 建築基準法（二方向/防火区画等）

ルール 3 と絡みますが、プランニングにあたり、二方向避難、無窓による避難距離減、3 つの防火区画、道路斜線、有効採光面積などの建築基準法を遵守する必要があります。

<ルール 10> バリアフリー法を含む最小限寸法の理解

製図試験で最も厳しい寸法は、バリアフリー法の誘導基準です。本パーツ集は、バリアフリー法に基づいて作成していますが、必ず本法を理解し、バリアフリー法での最小限寸法を押さえるようにしてください。

また、大きな減点にはなりません。テーブルや椅子のレイアウト、便所、管理階段などもその最小限寸法を押さえておく必要があります。

※その他、年度によっては、建築基準法以外の法令寸法が必要なケースもあります。また、あなたが発見したルールもマイルールとして構築してください。

パーツ集部位

A：管理部門セット

管理部門コマ数別にまとめています。

風除室—エントランスホール—管理部門—メインコアまでがセットです。

B：2階吹抜け

吹抜けとメインコア、サブコア、つないでいる共用廊下がセットです。

C：広場

広場には、オープン系とクローズ系があります。

D：外構

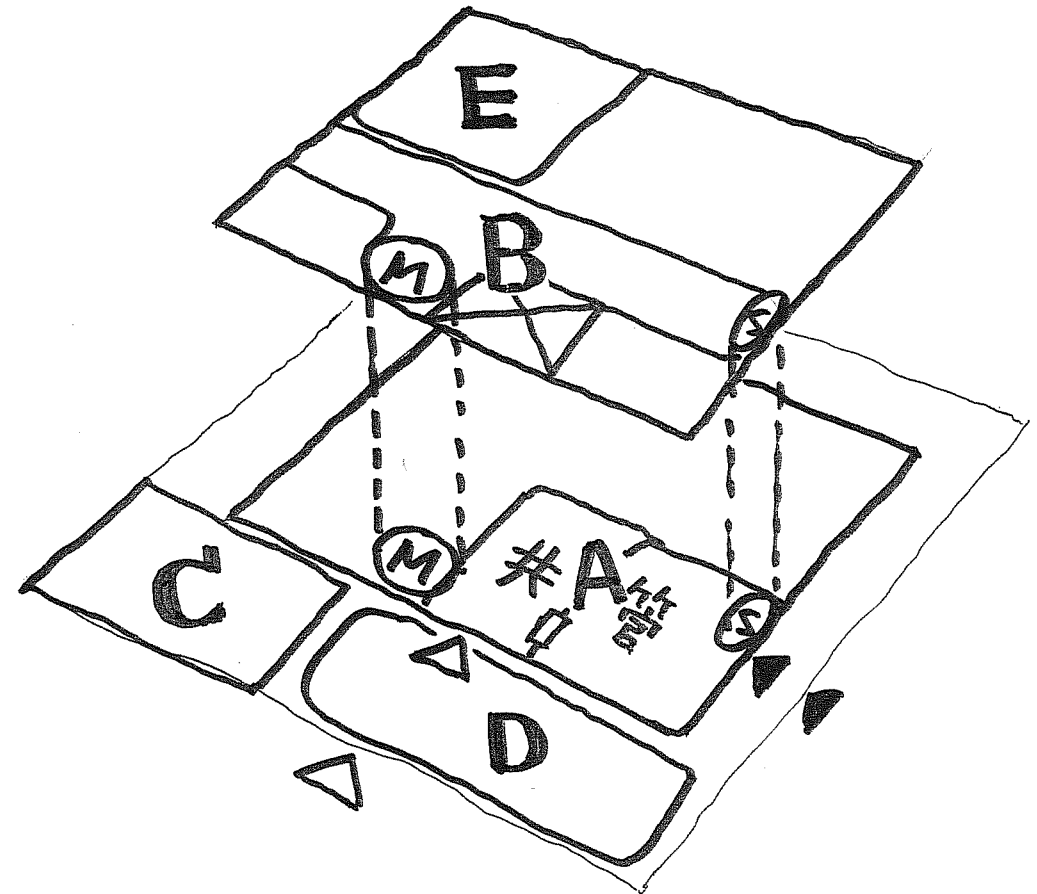
駐車舞台数については、全台数のパターンを構築しておくように。

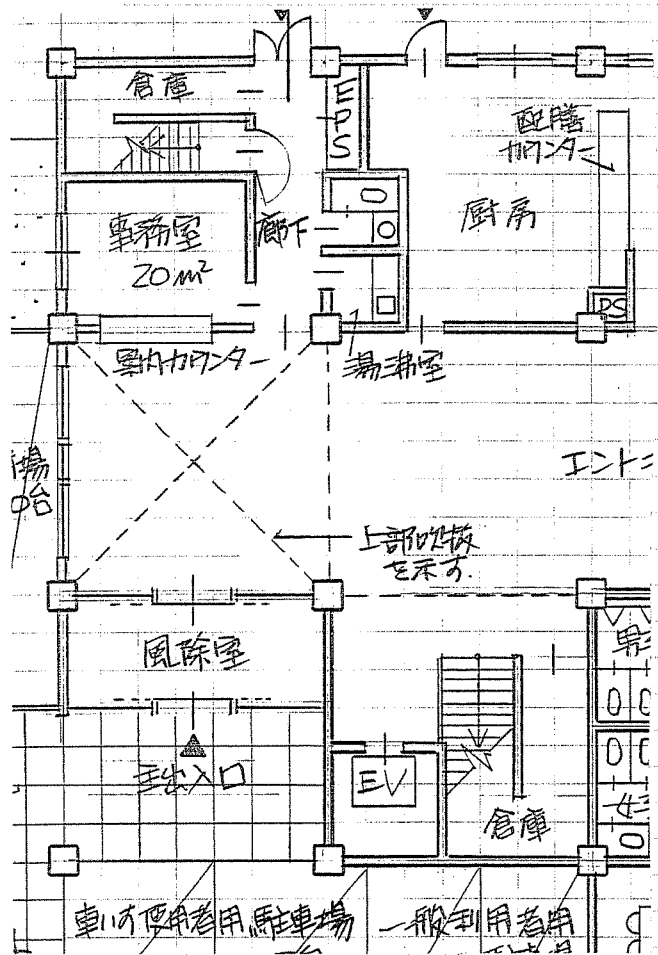
E：特殊パーツ

この部分が、年度ごとで大幅に異なります。

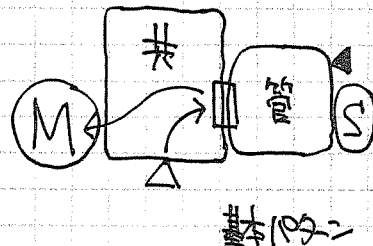
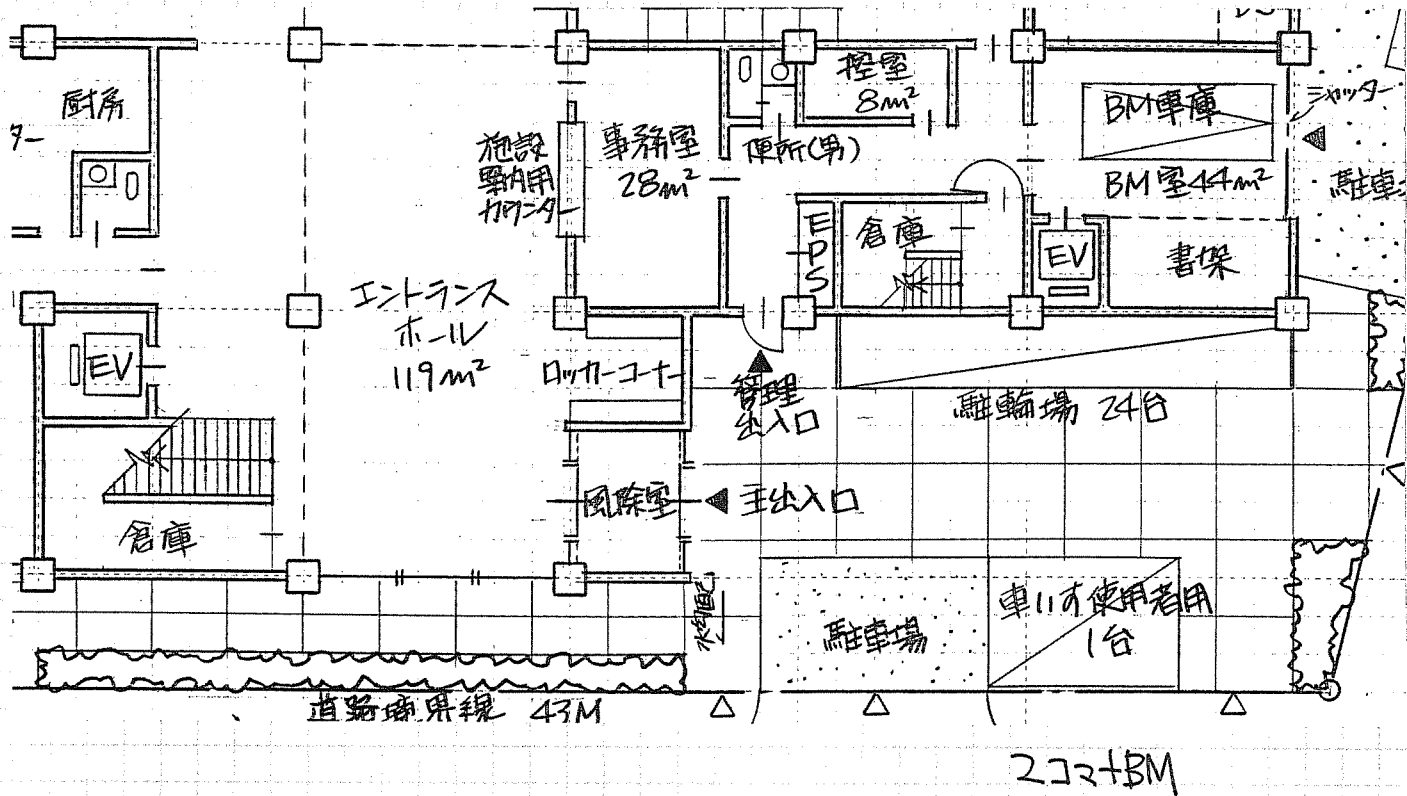
F：6×4スケルトンイメージ

フリーシート

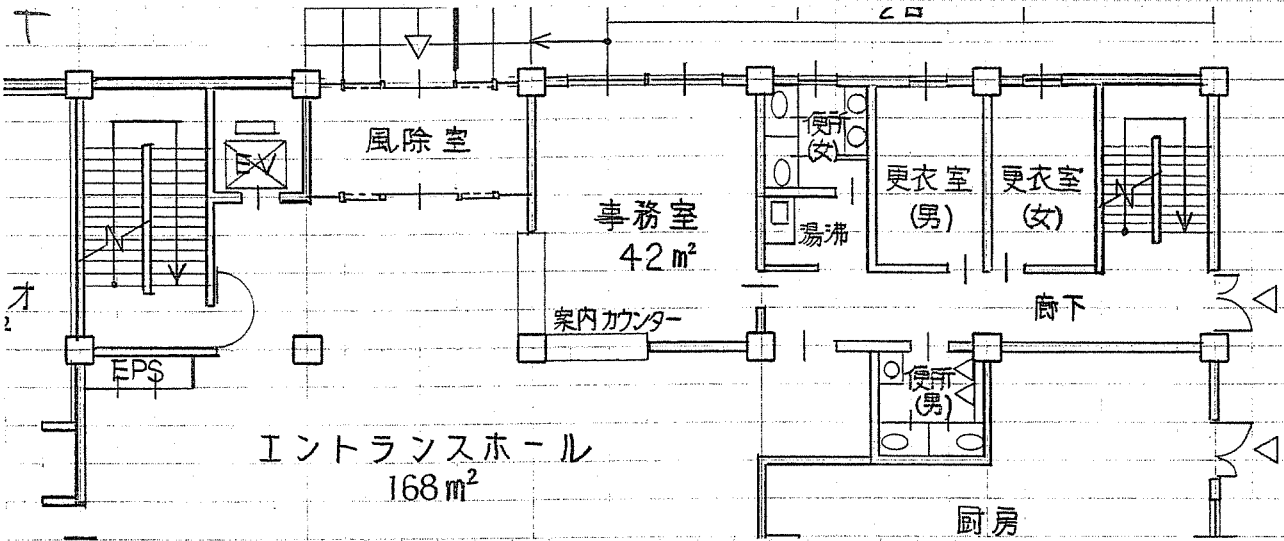




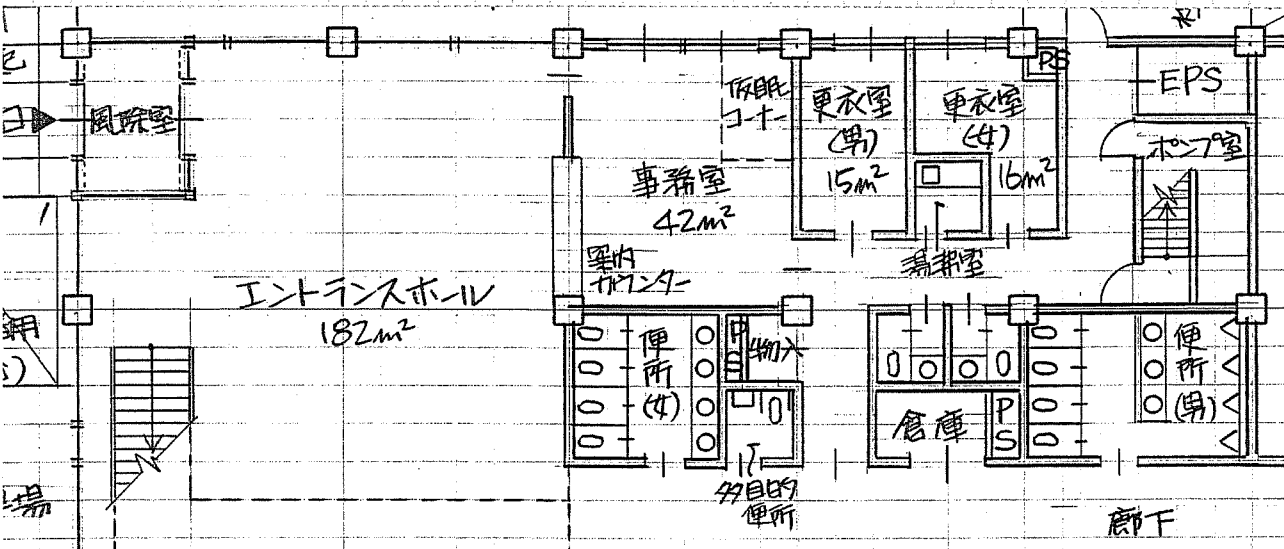
*1コマ = のり台 2F¹



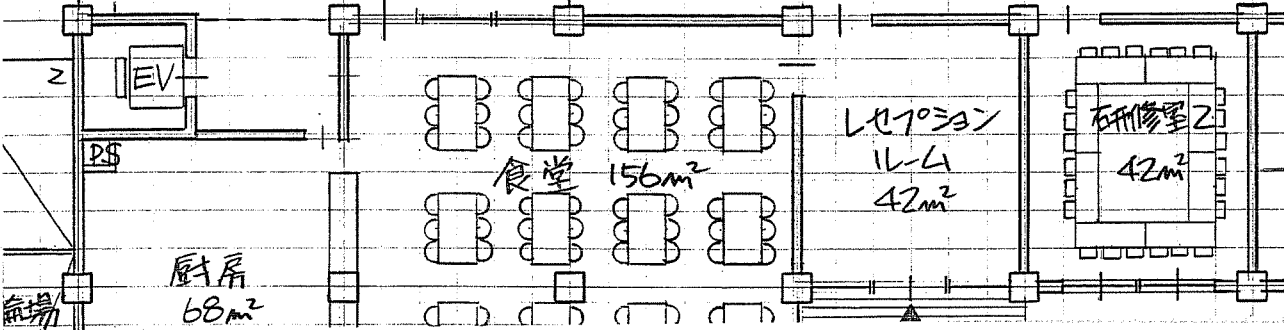
A01: 管理1~2コマ



3F 基本形

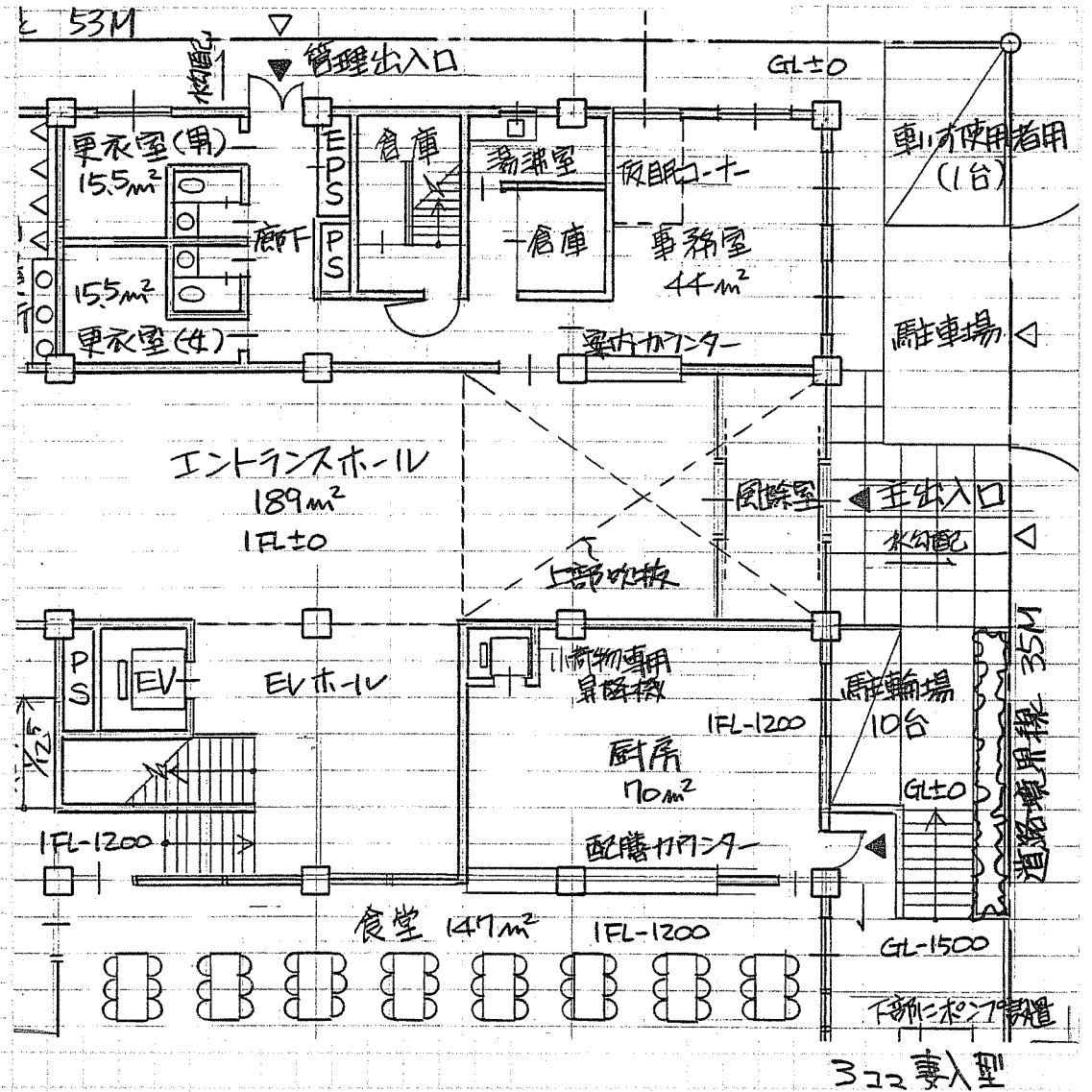
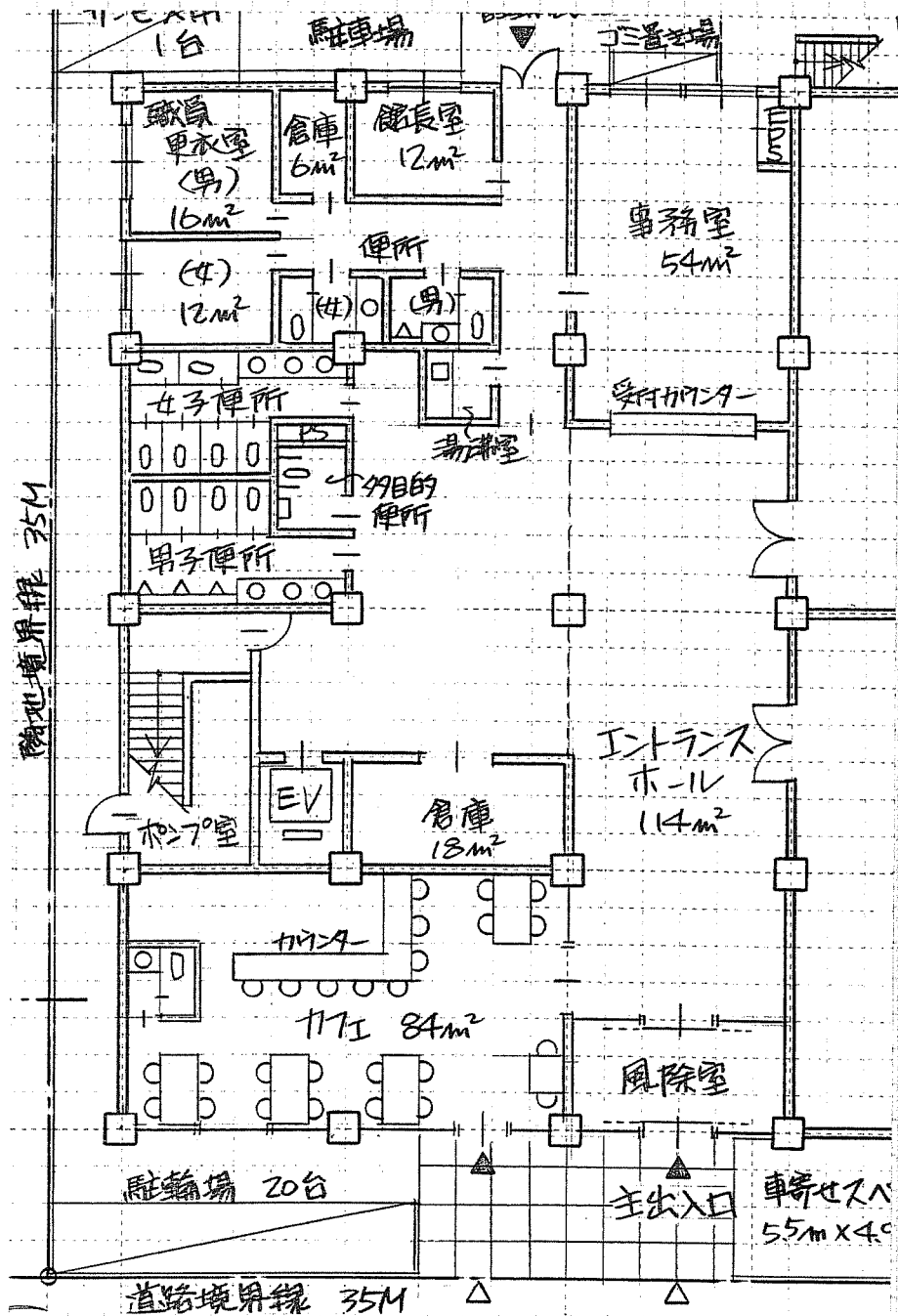


3F 出口型



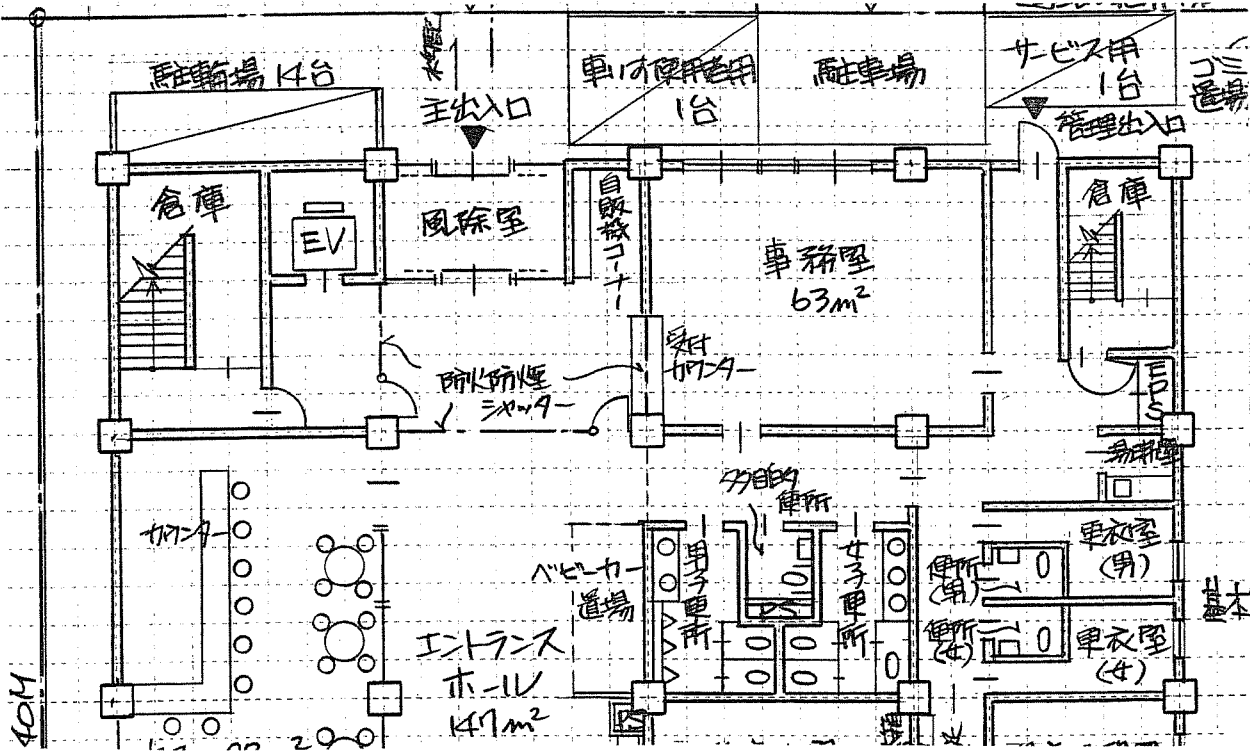
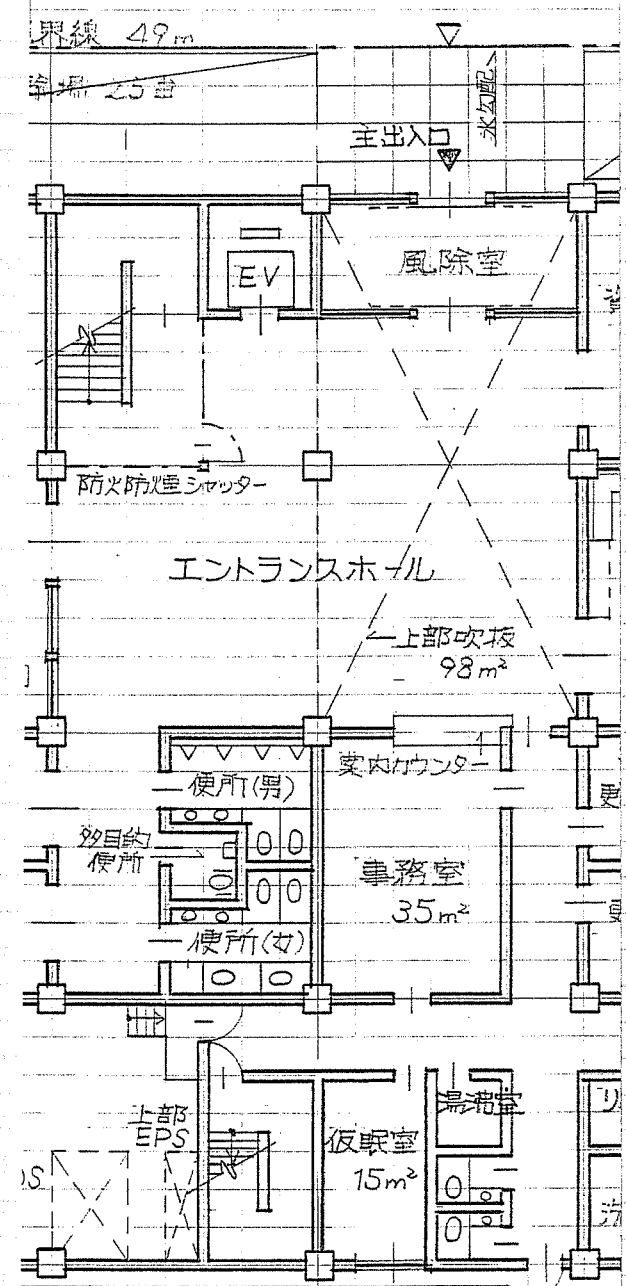
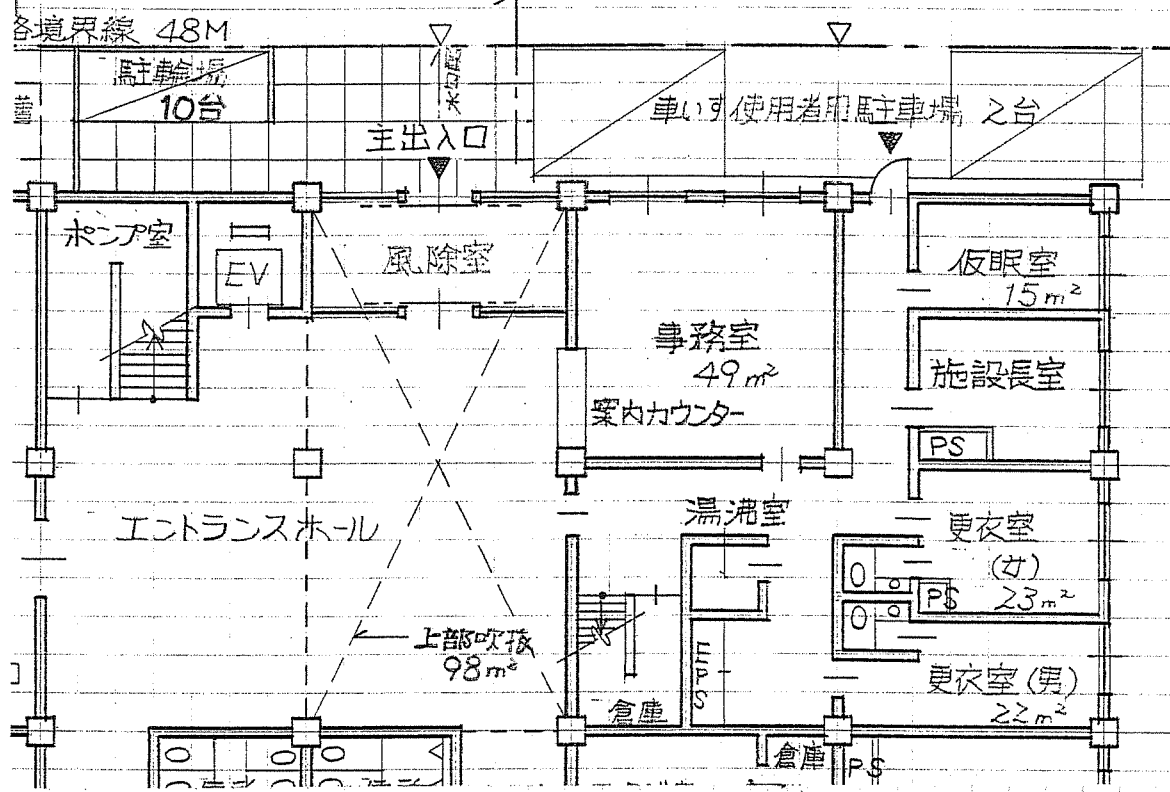
A02: 管理3F





A03: 管理3F

3F 出立型

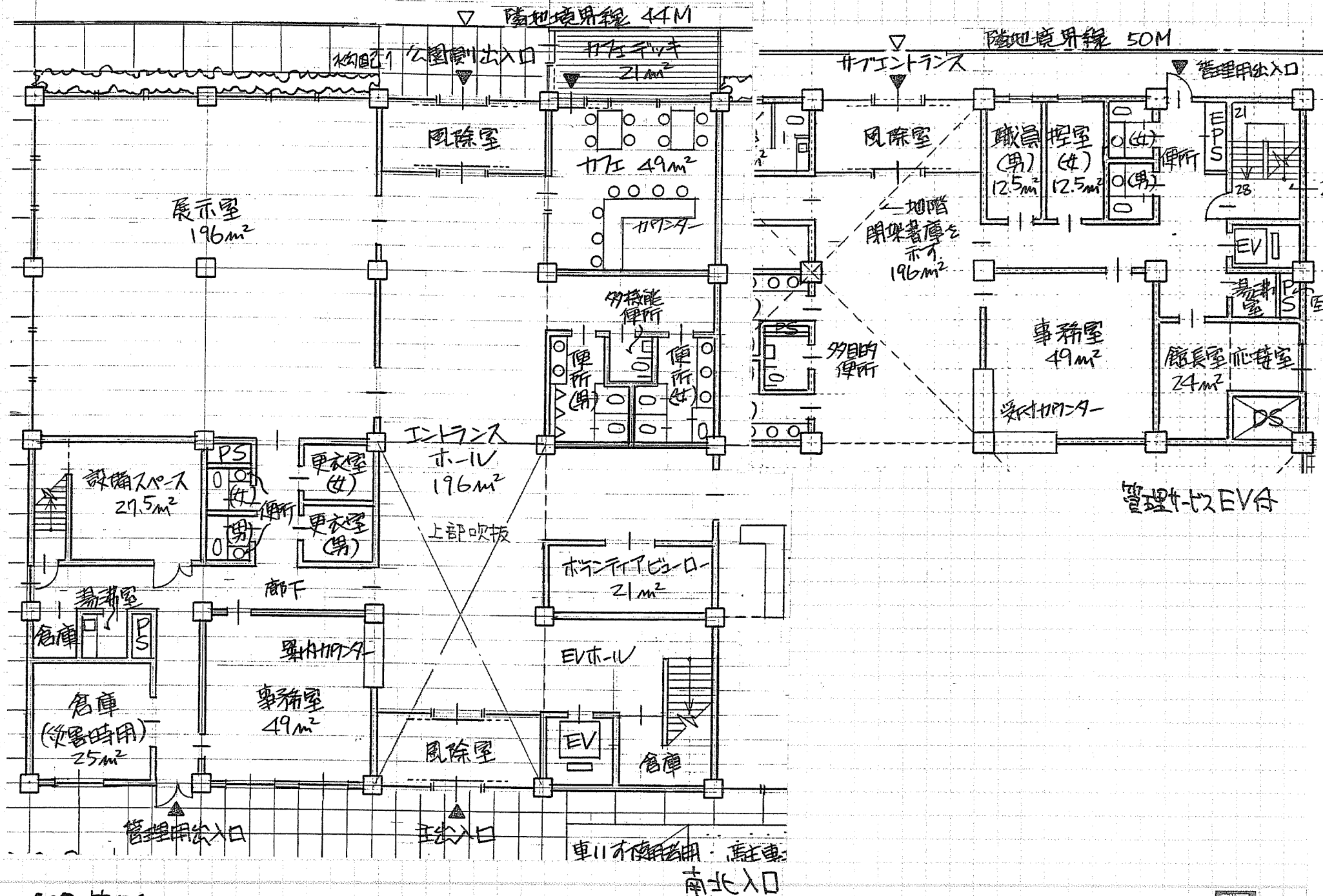


サービス・職員用駐車場 > 台

基本形

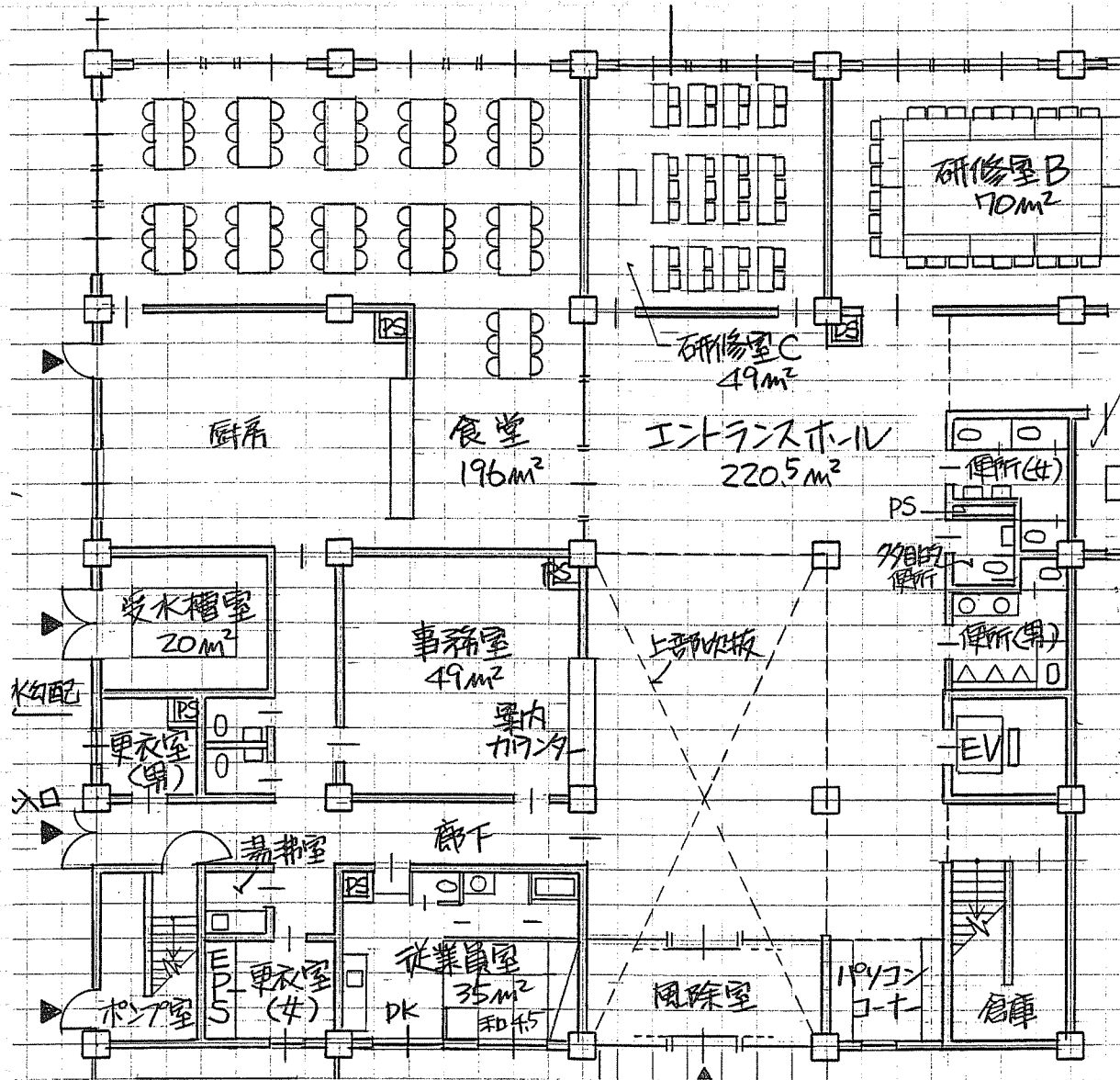
A04: 管理4階





AOS: 管理4₂

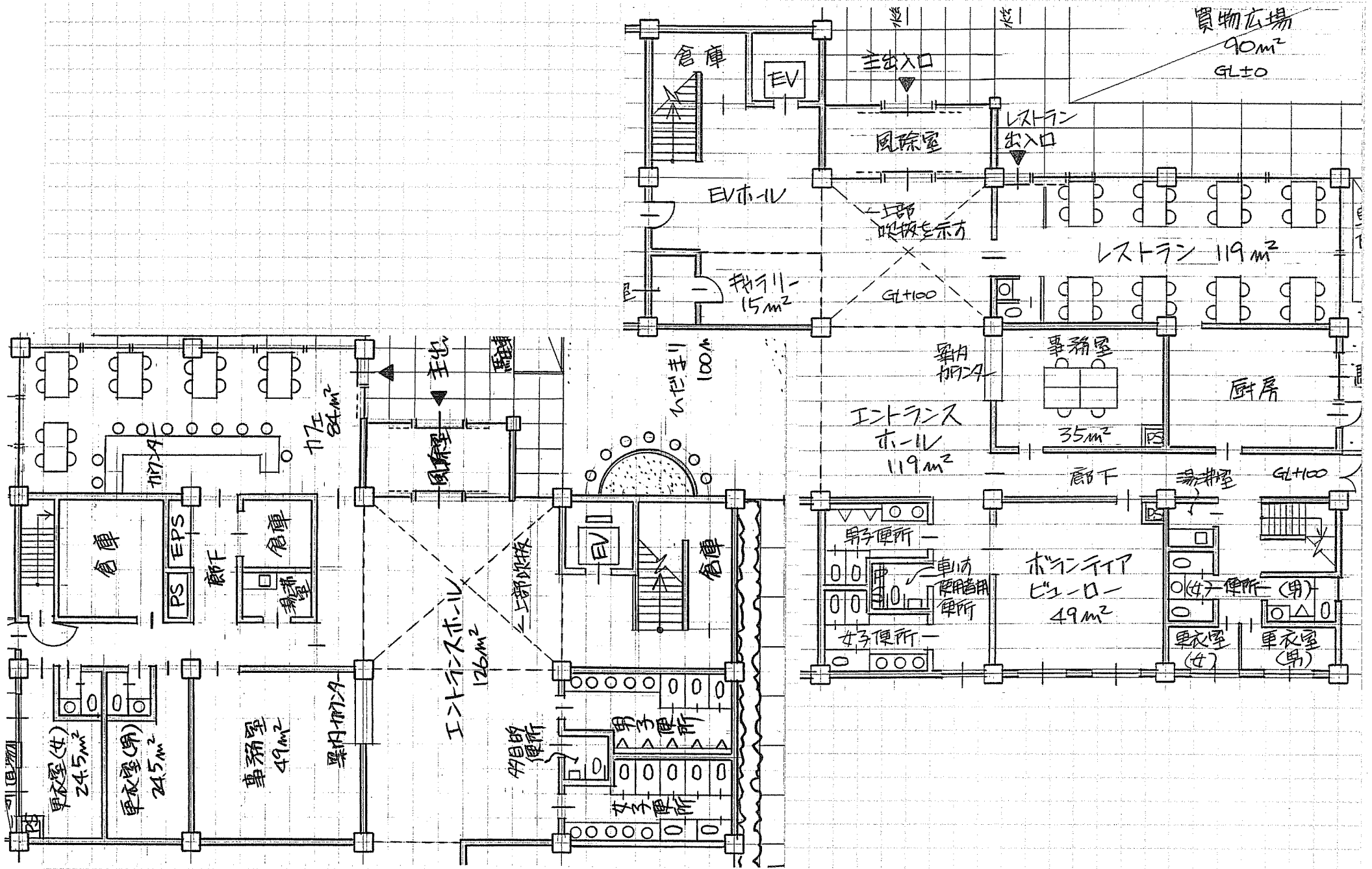




* 管理部門と厨房の関係

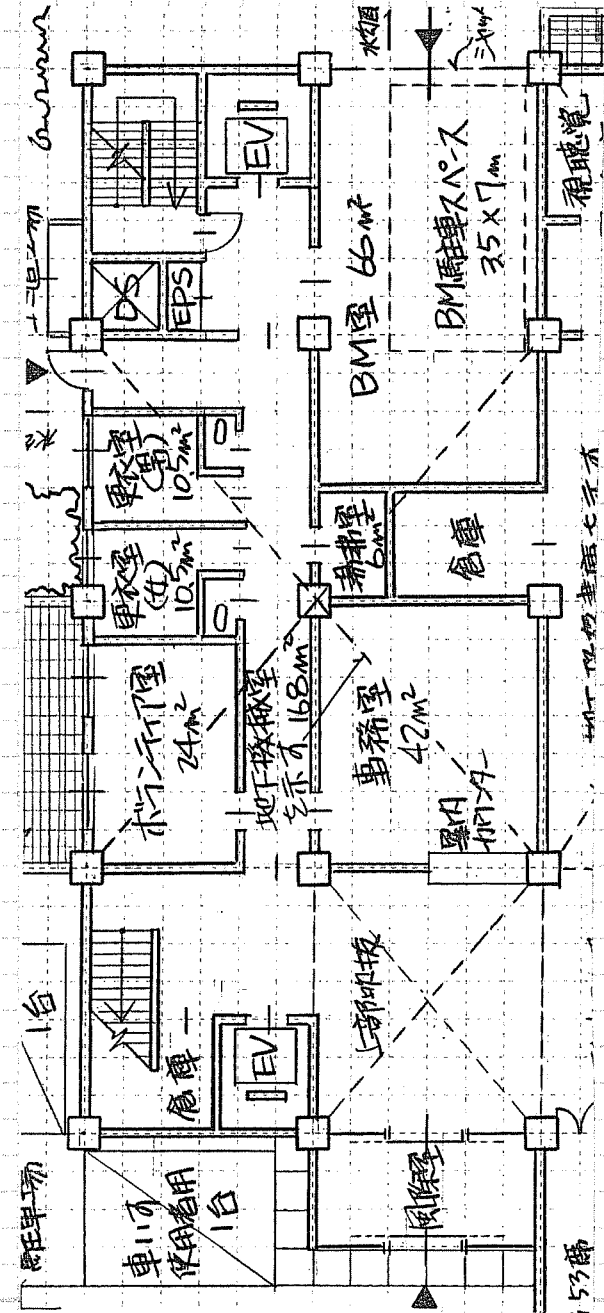
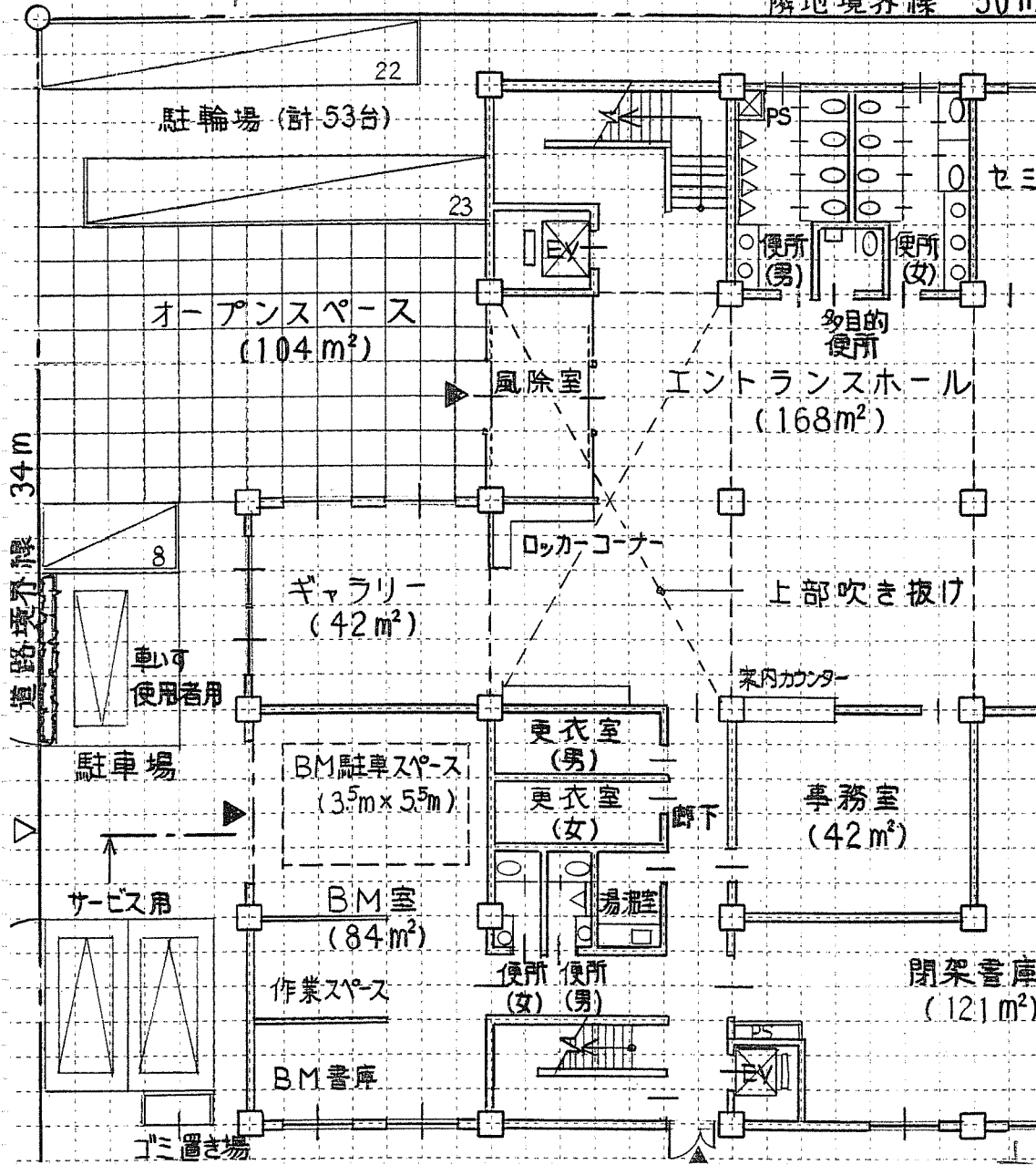
→ 近年、レストランなどは外部委託^{“たか”}のため
 工2ホリ、必要(も)同じ「メニュー」にすれば、
 要はない。

ただし、厨房には食品庫、更衣、休憩
 スペースを足す必要が有る。



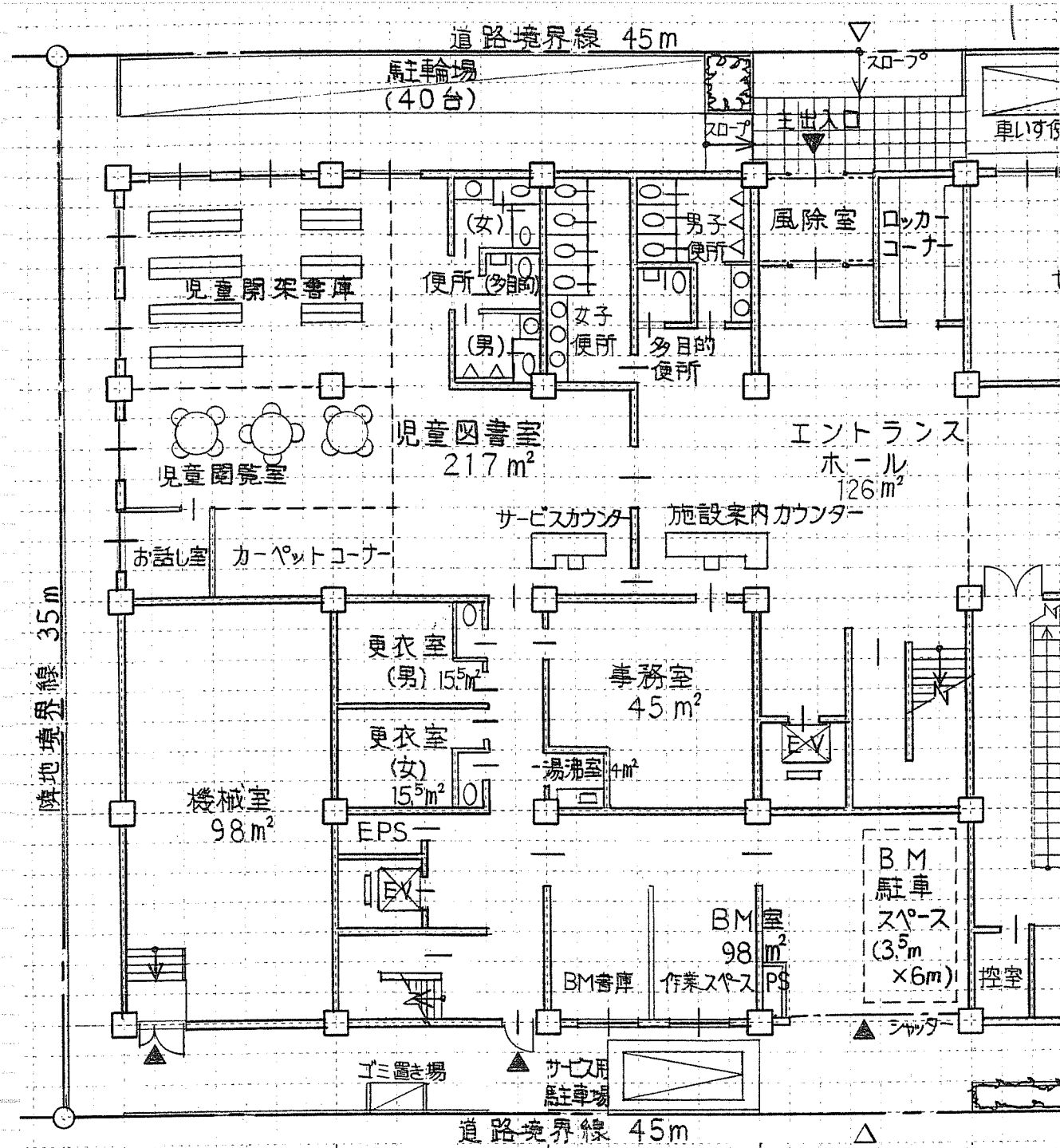
A06: 管理フロア+レストラン+トイレ

隣地境界線 50m



A07: 管理622

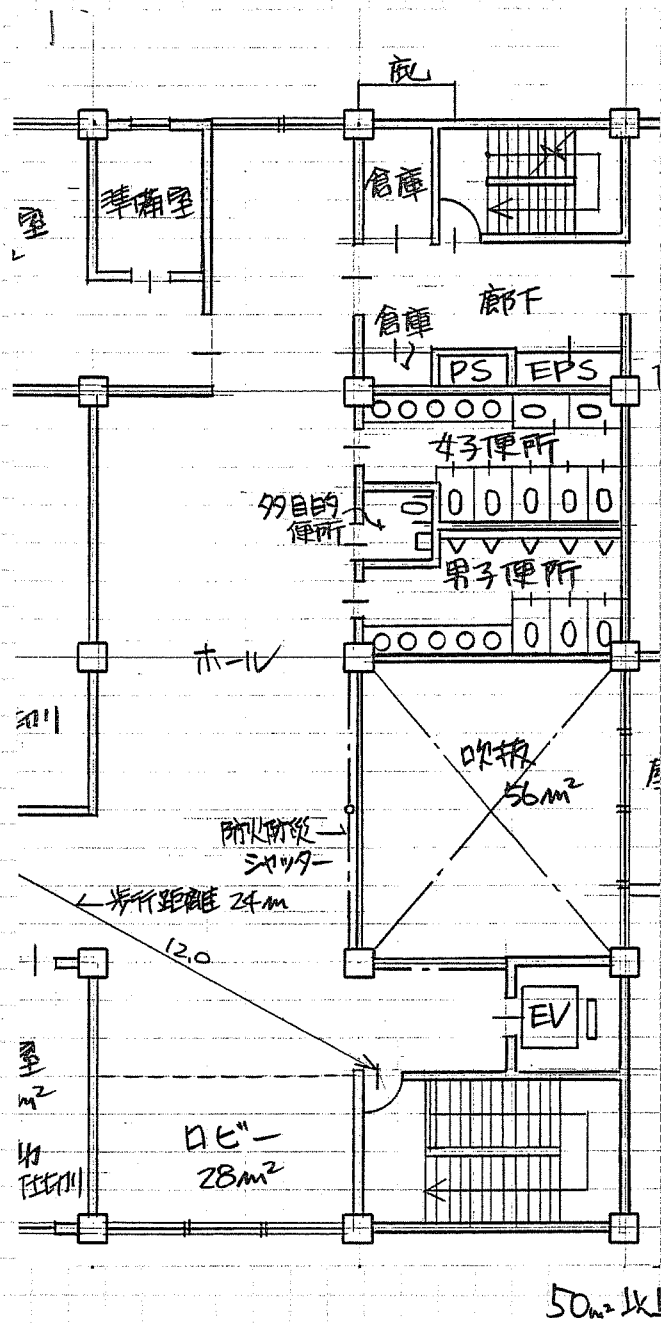
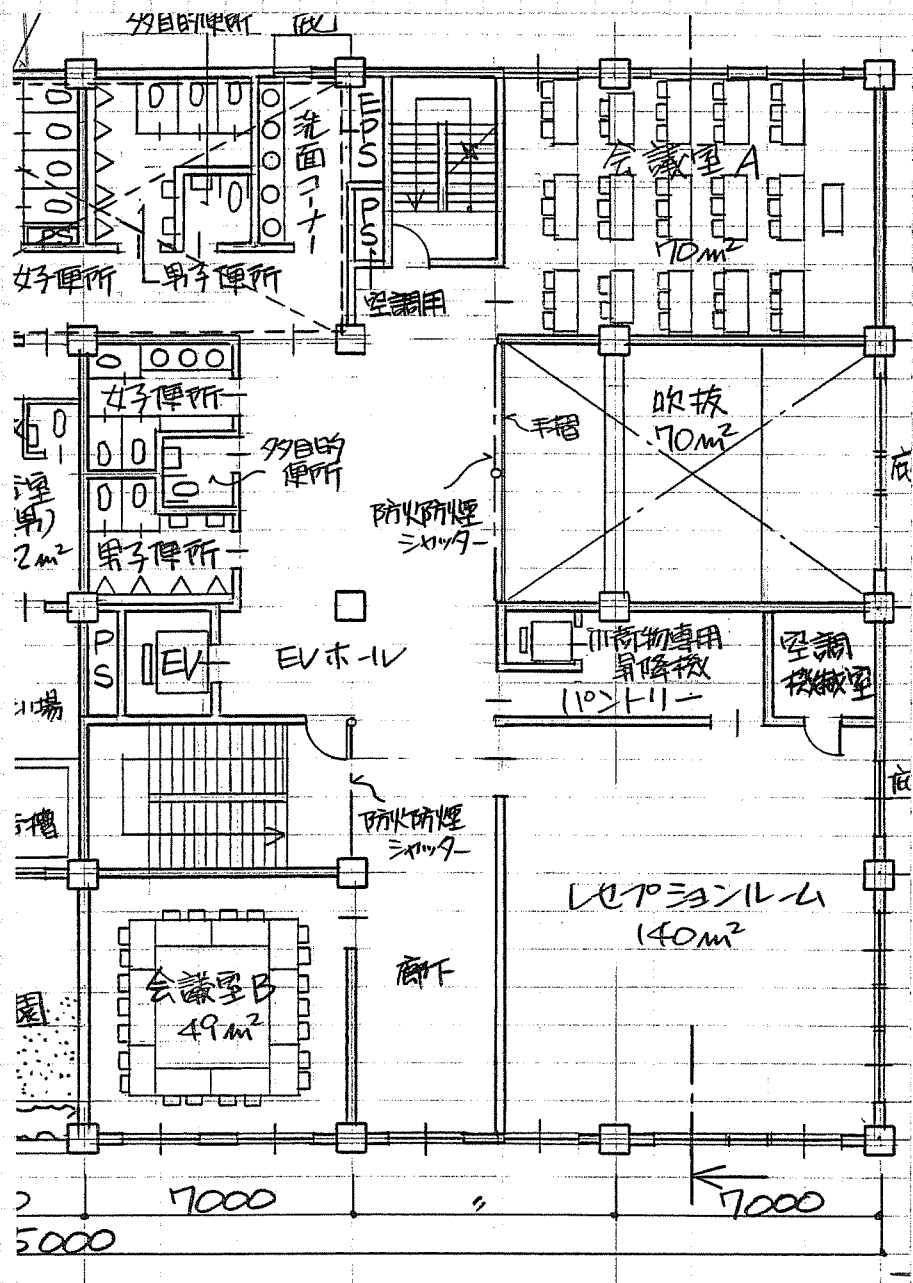




4.4.3型
 + 特殊女子位置
 + エントランスホールカウンター有。

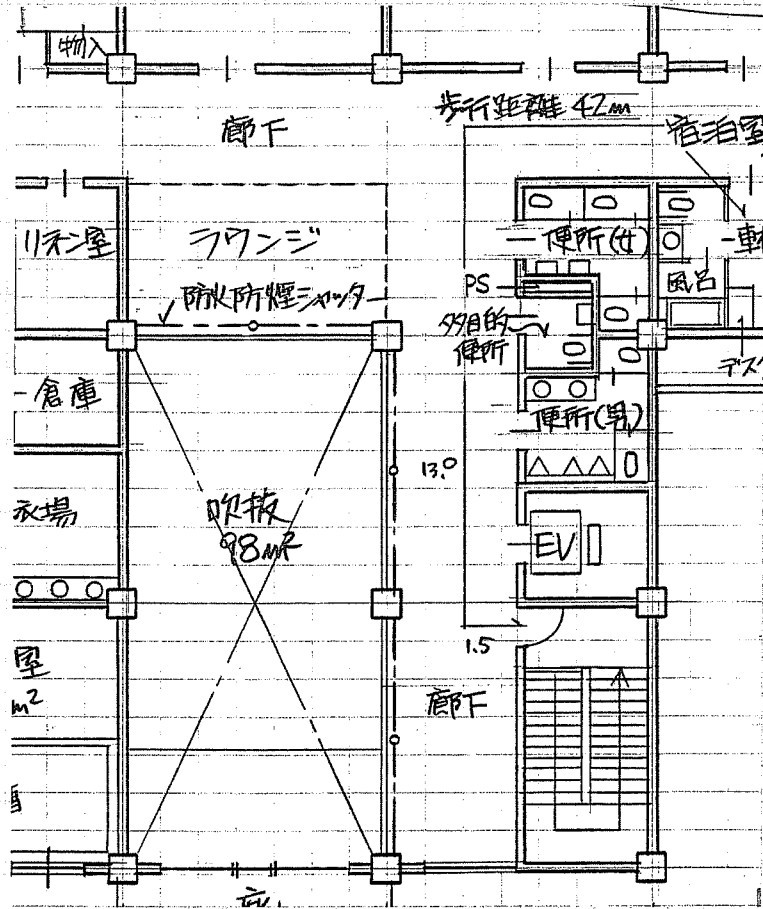
A08:管理6次



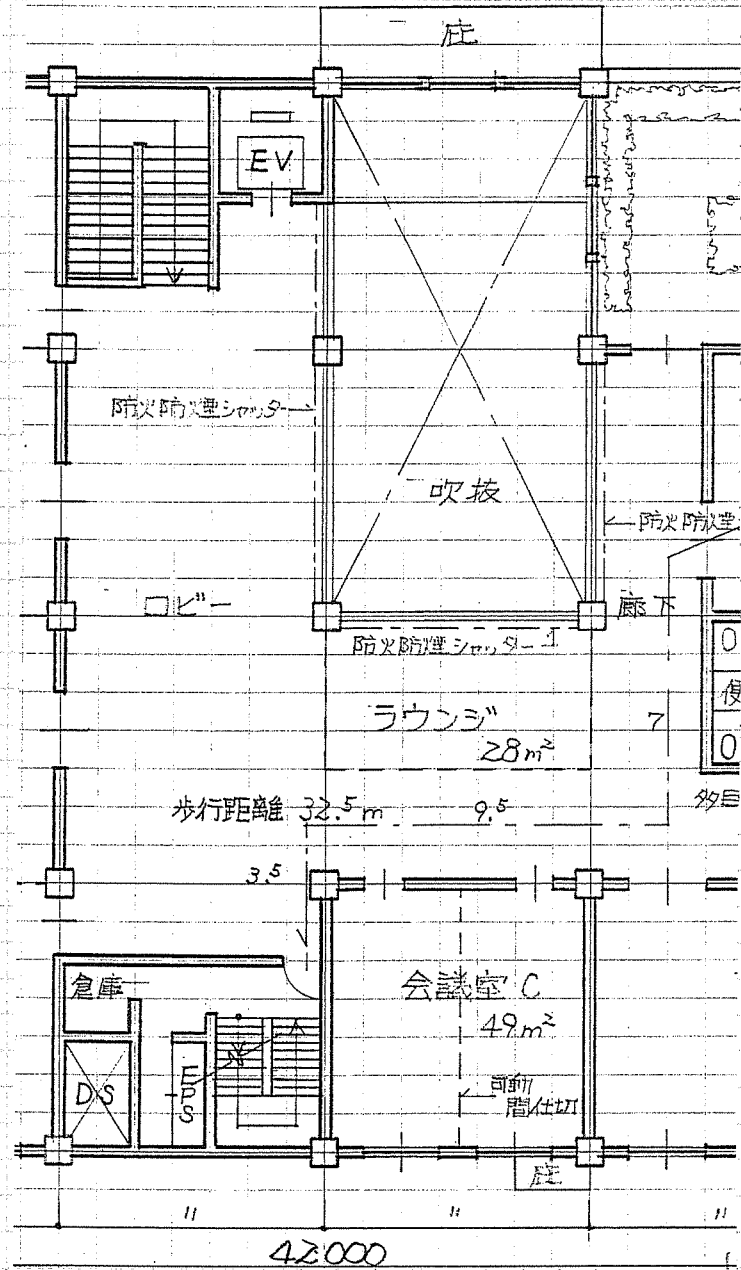


B01: 2F吹抜 60/70

70m²



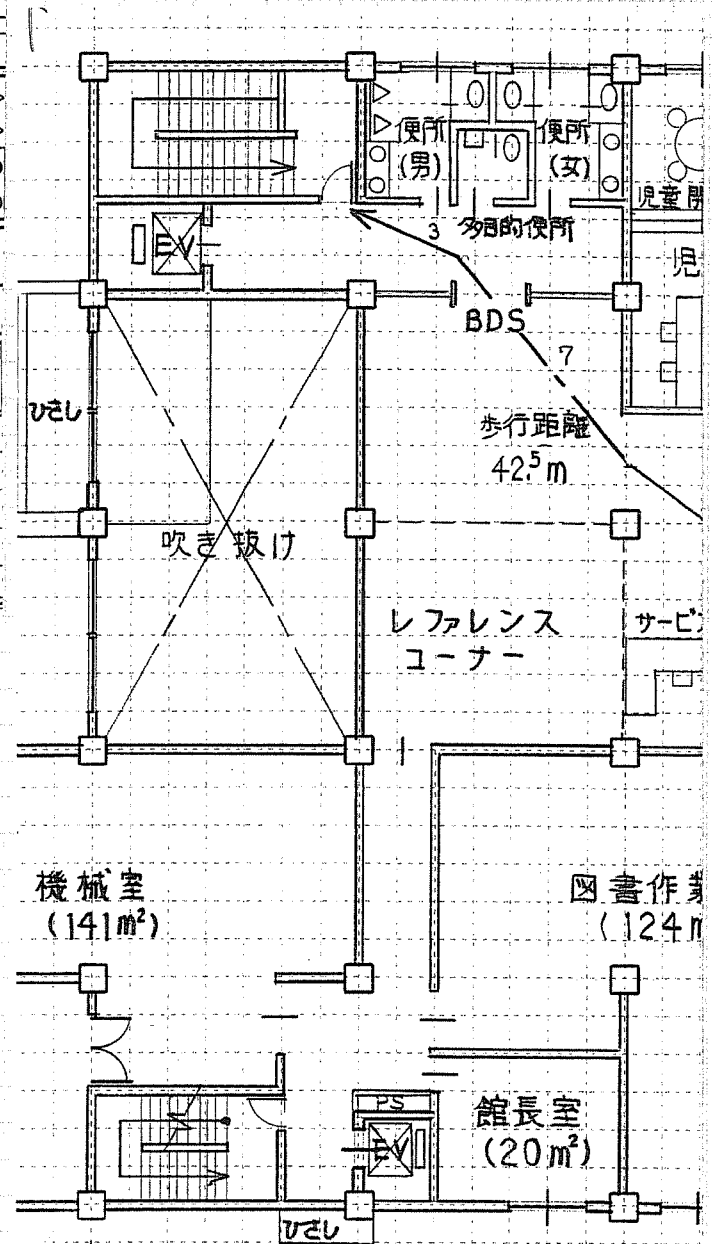
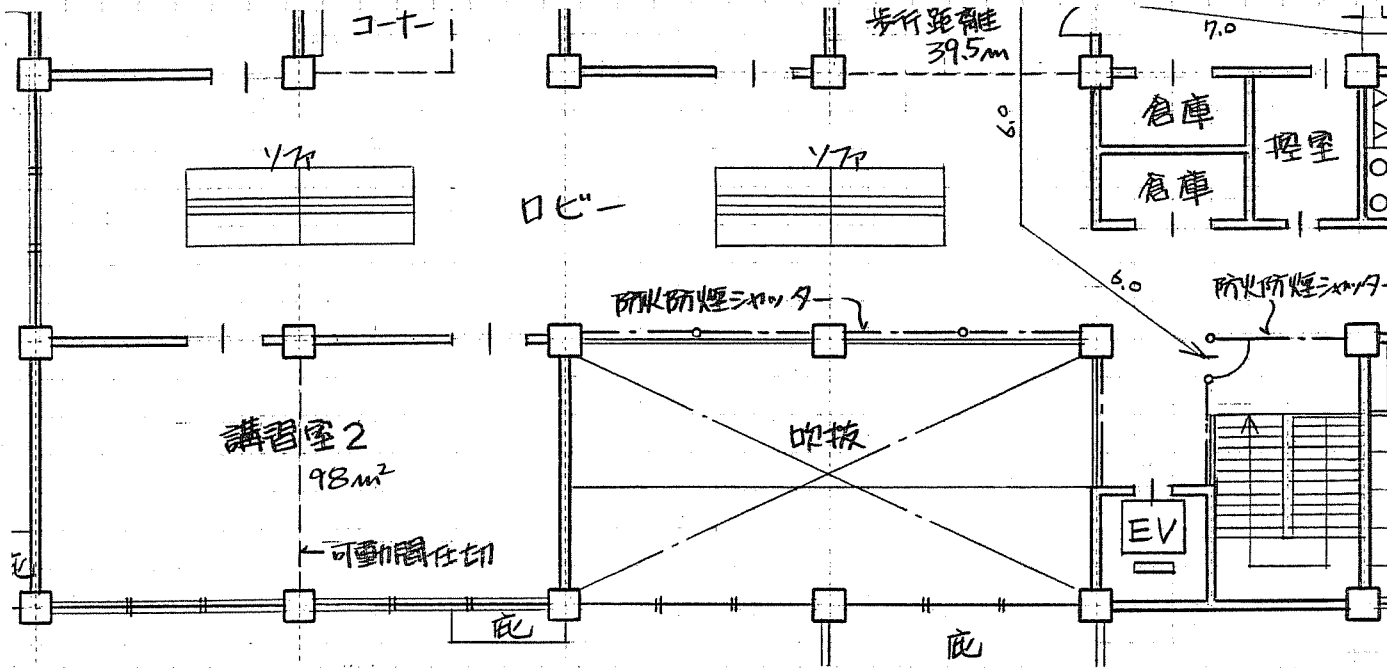
±2100m² 2階2F



±2100m² 1階2F

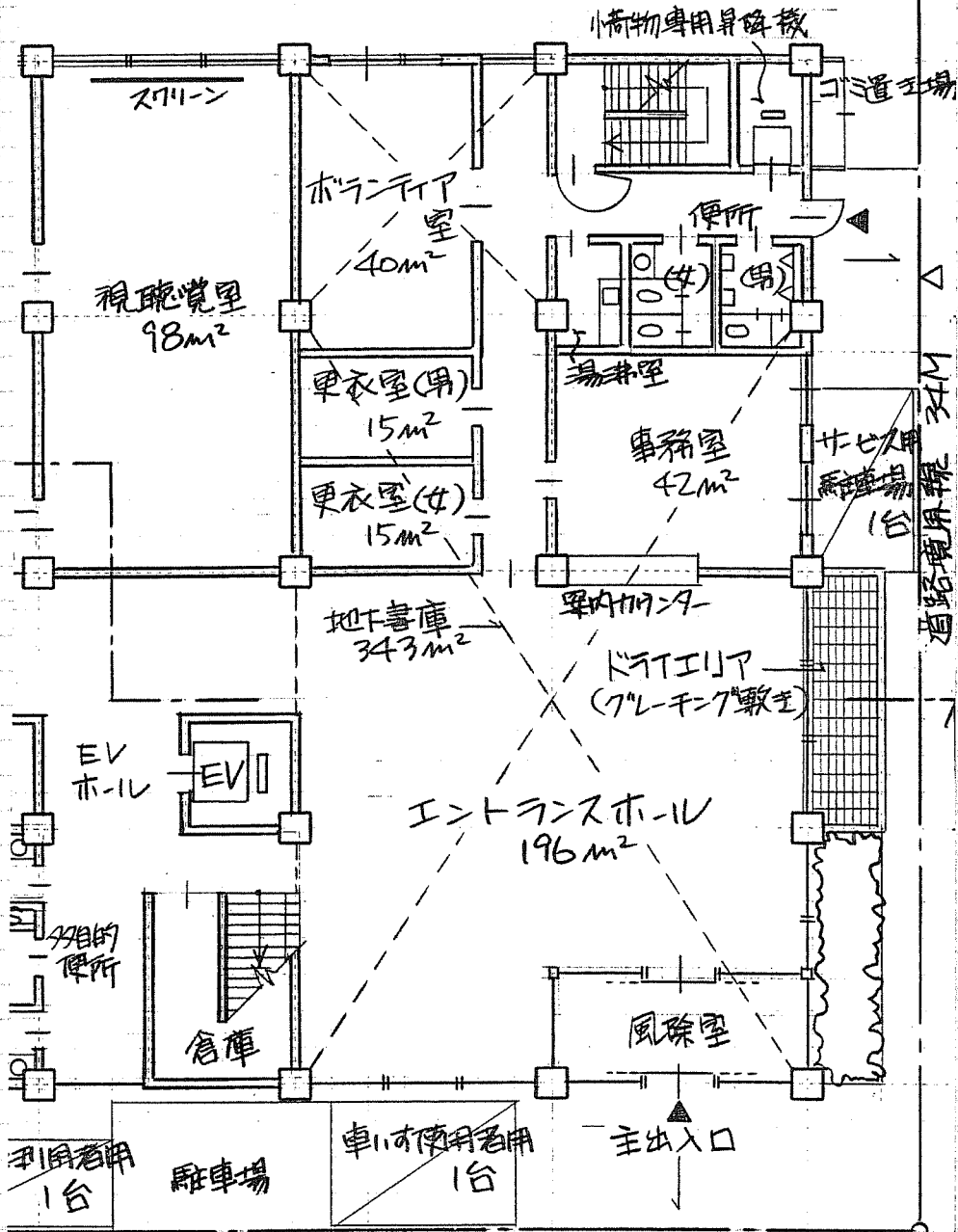
B02: 2F吹抜100総



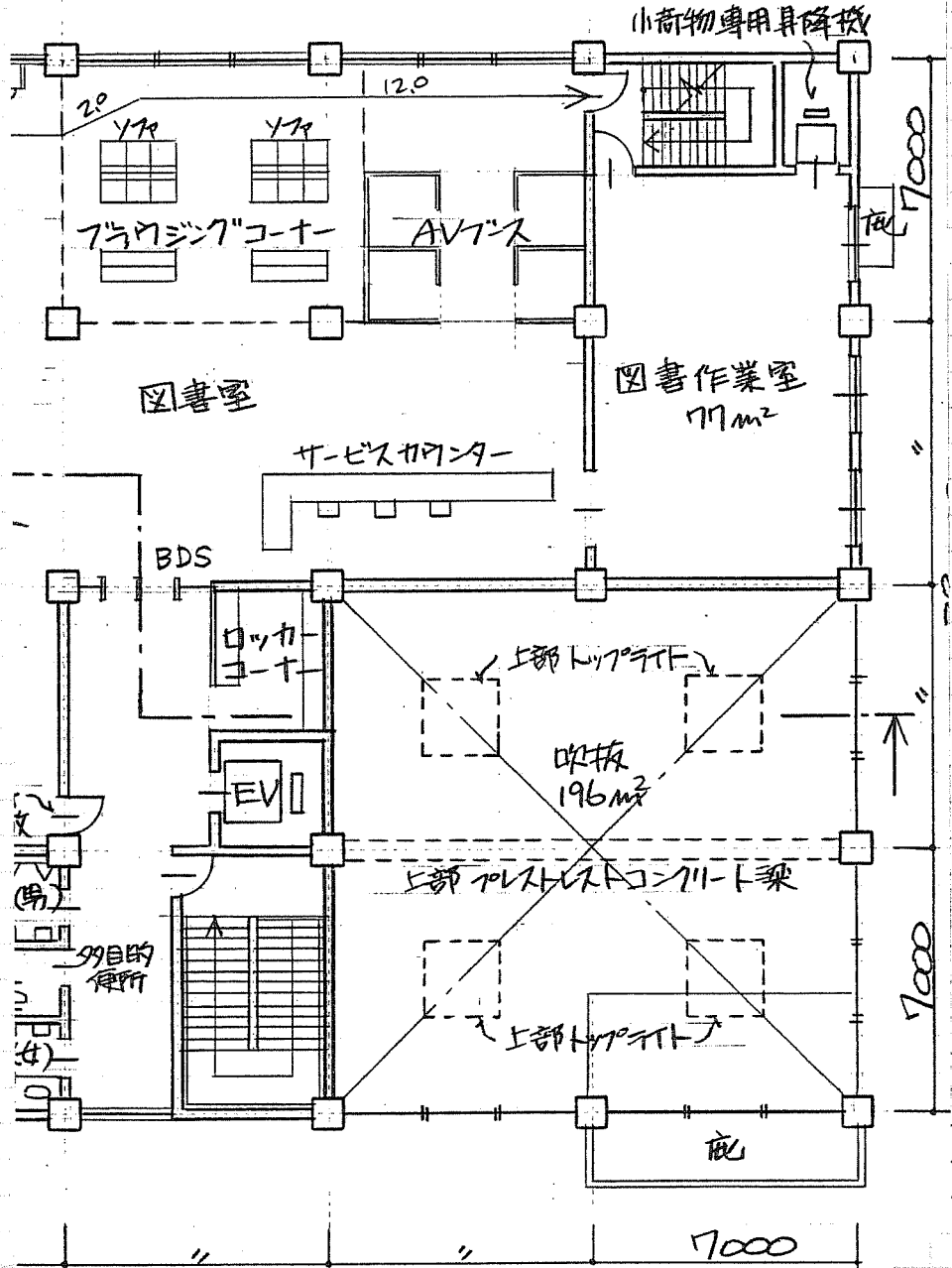


B03: 2F吹抜100横

全長 47M

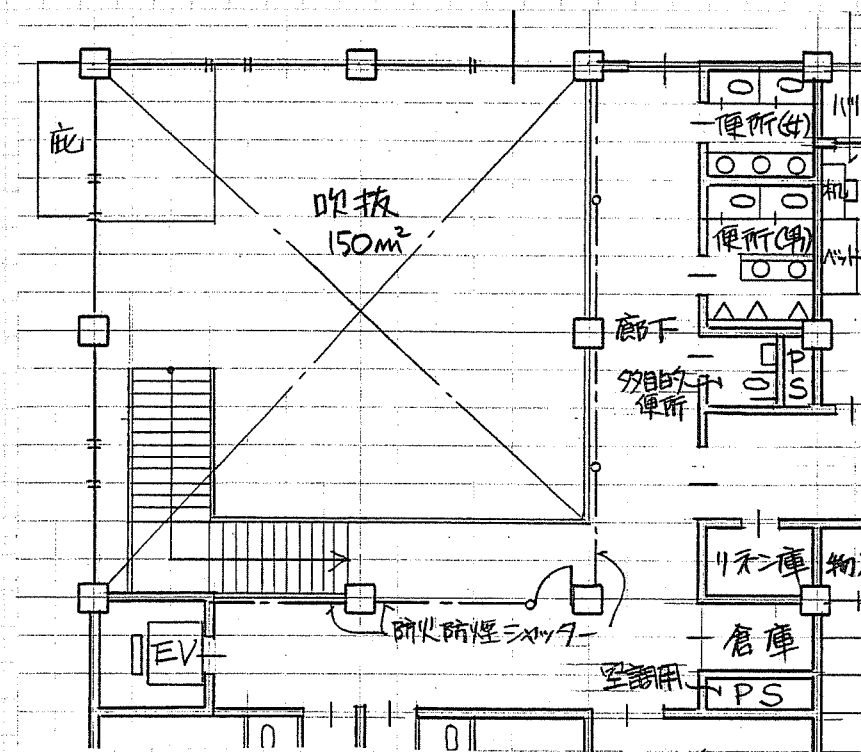
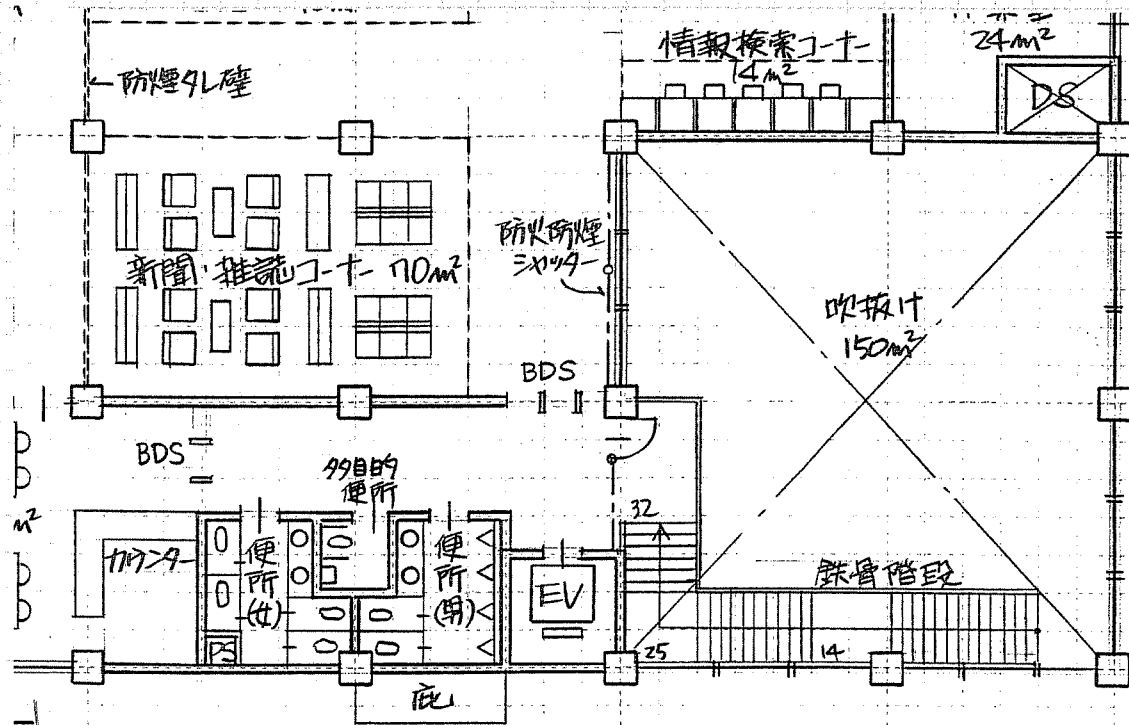


全長 47M

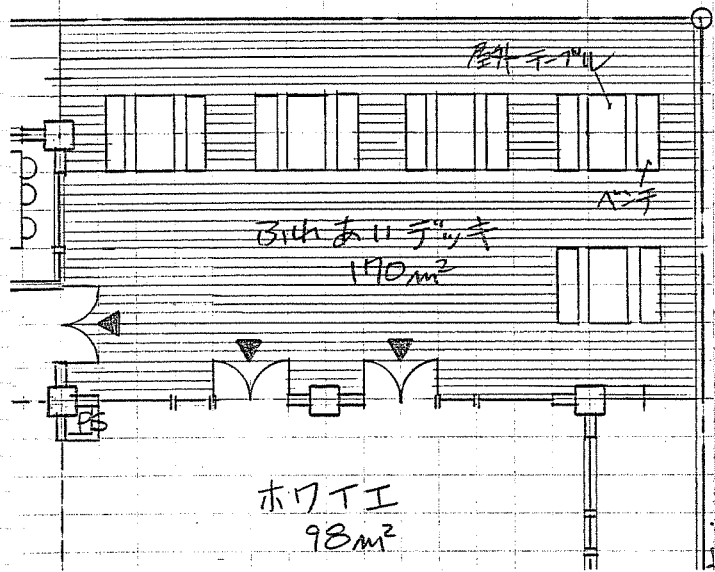
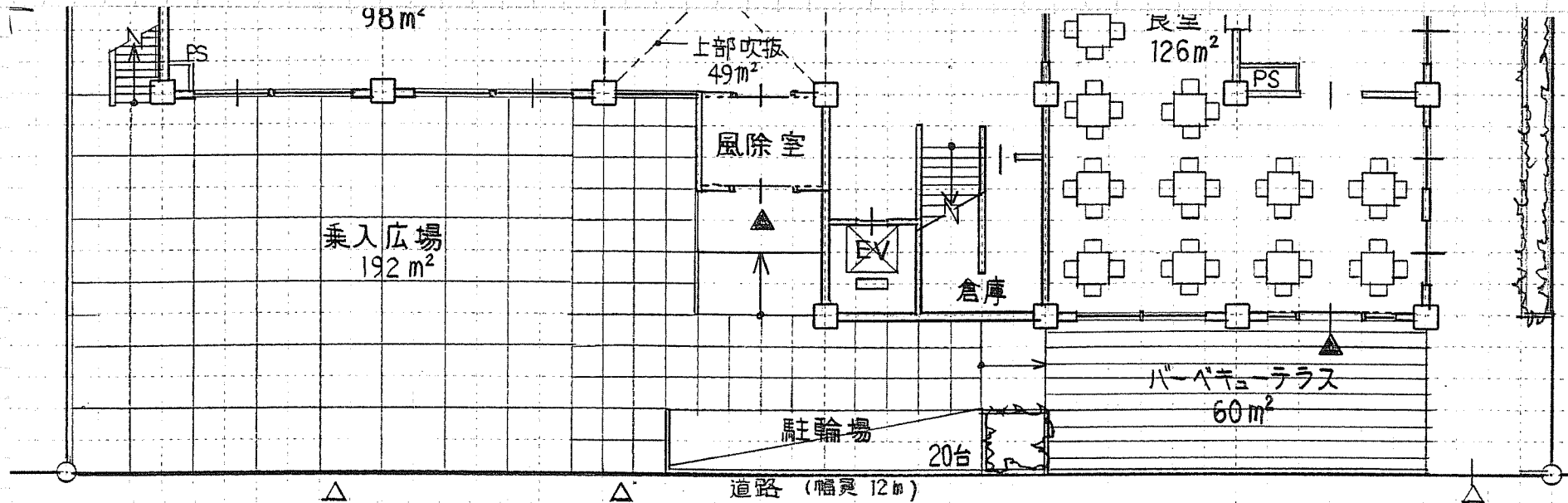


B04: 吹抜 200 TF/SE



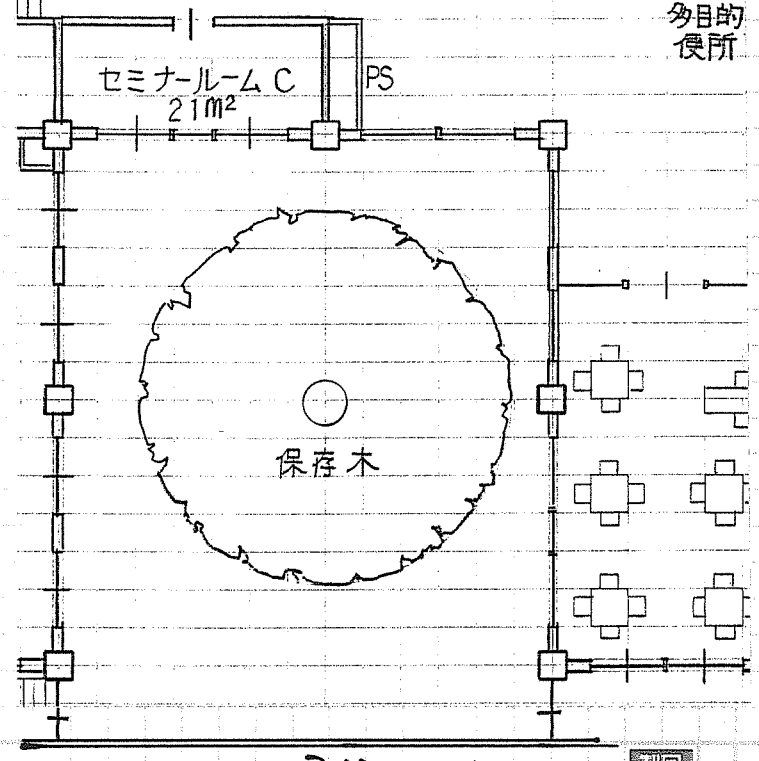
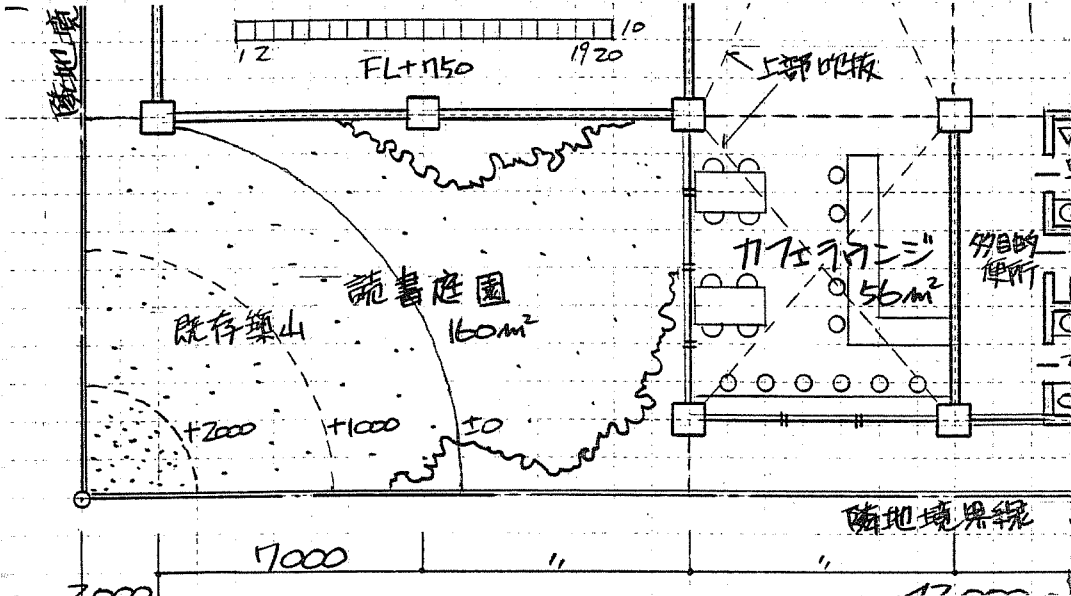
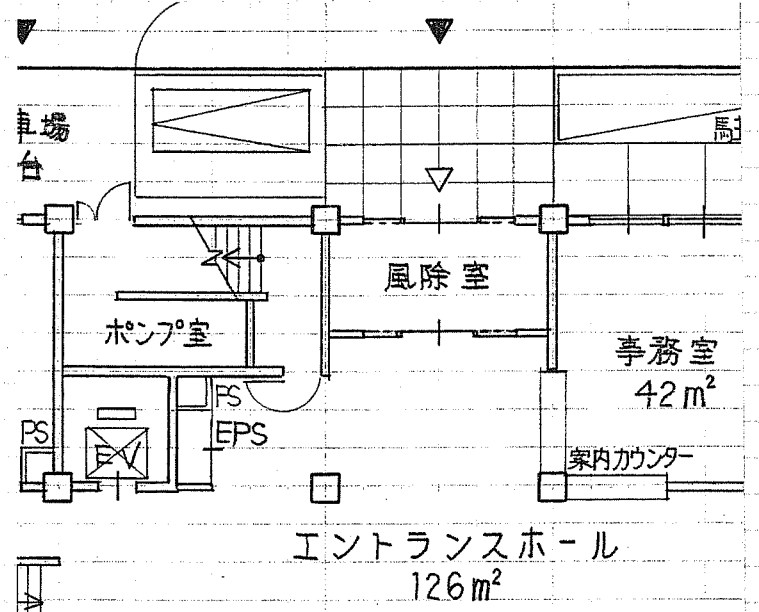
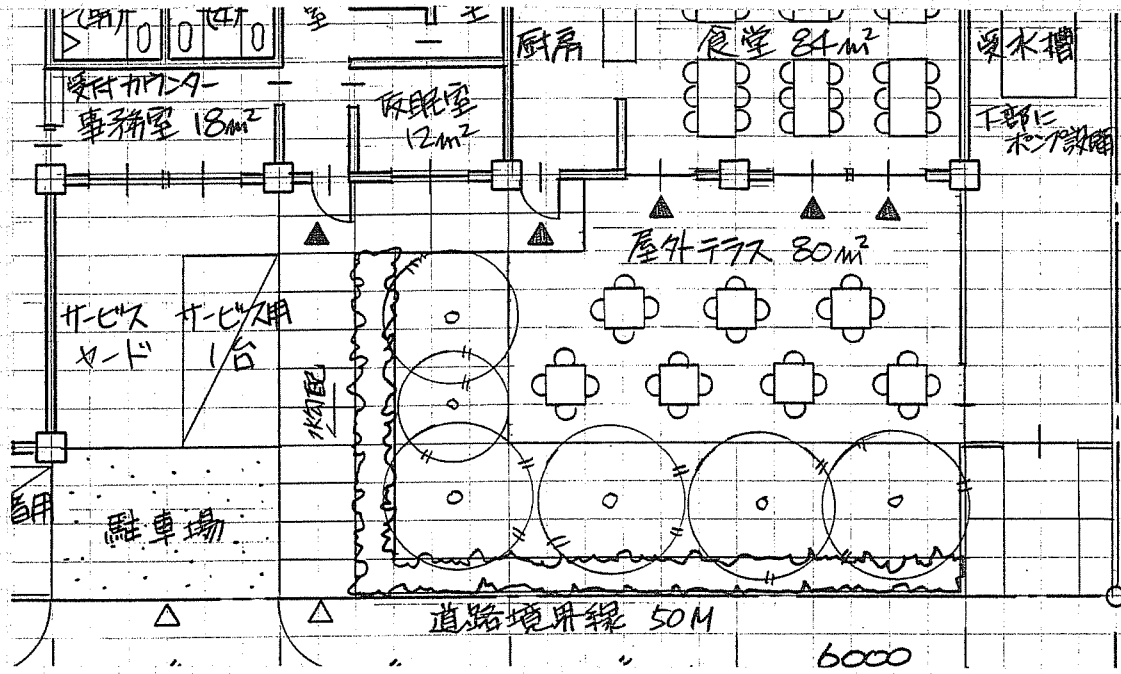


B05: 吹抜200-2F階段 — 階段・EV要図



C01: 広場 (open系)

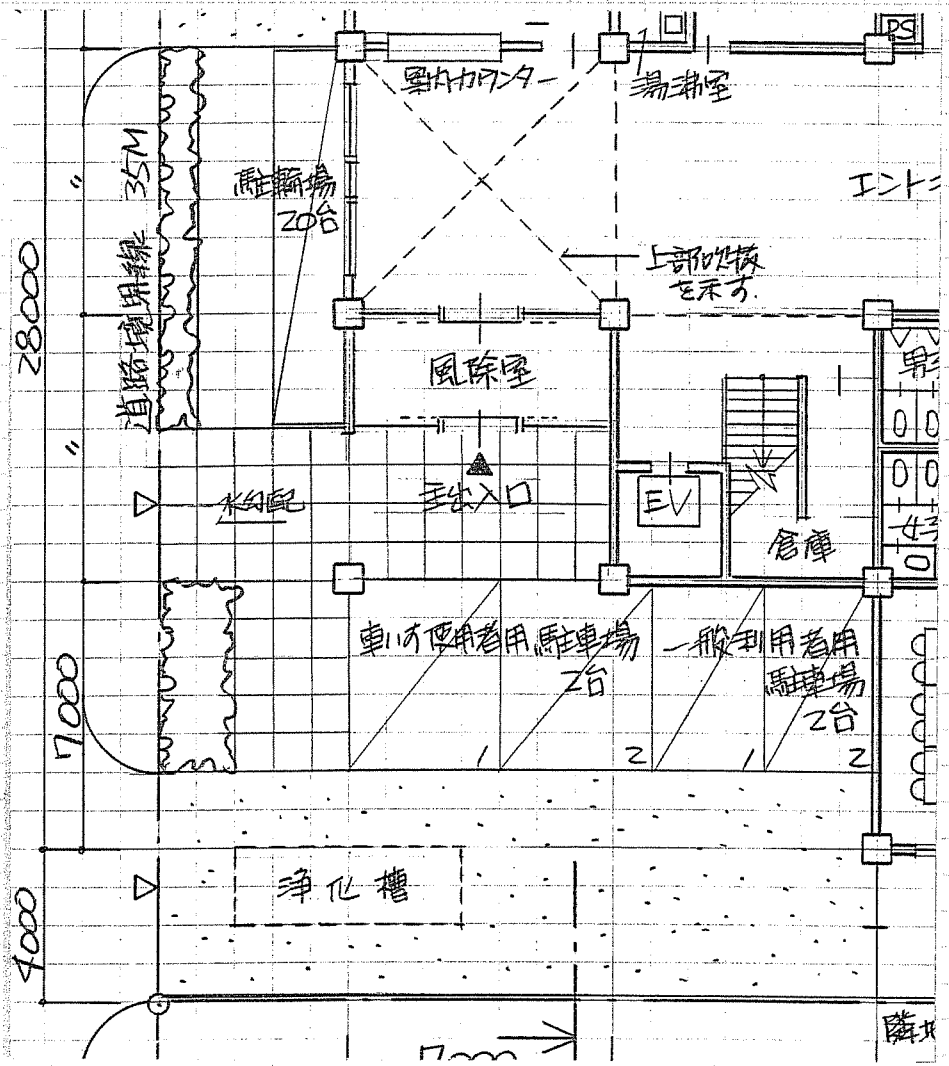




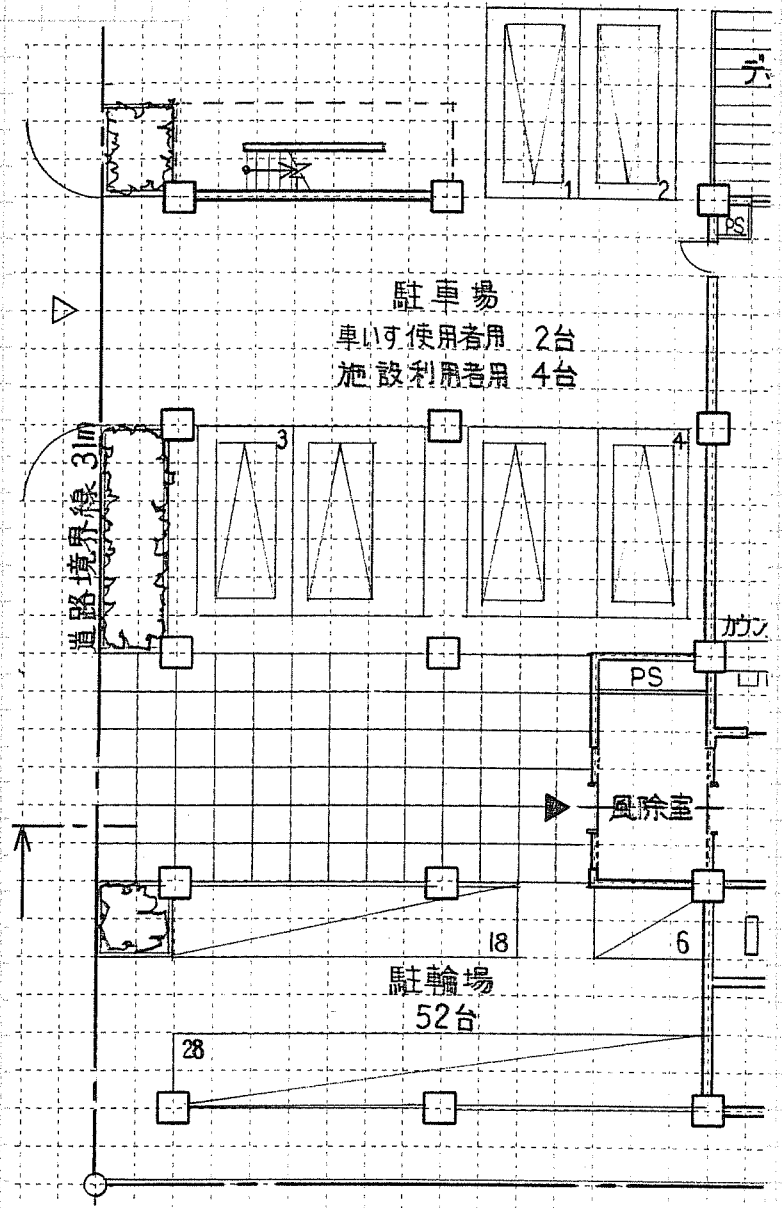
C01: 広場 (closed系)

7:22 中庭90°



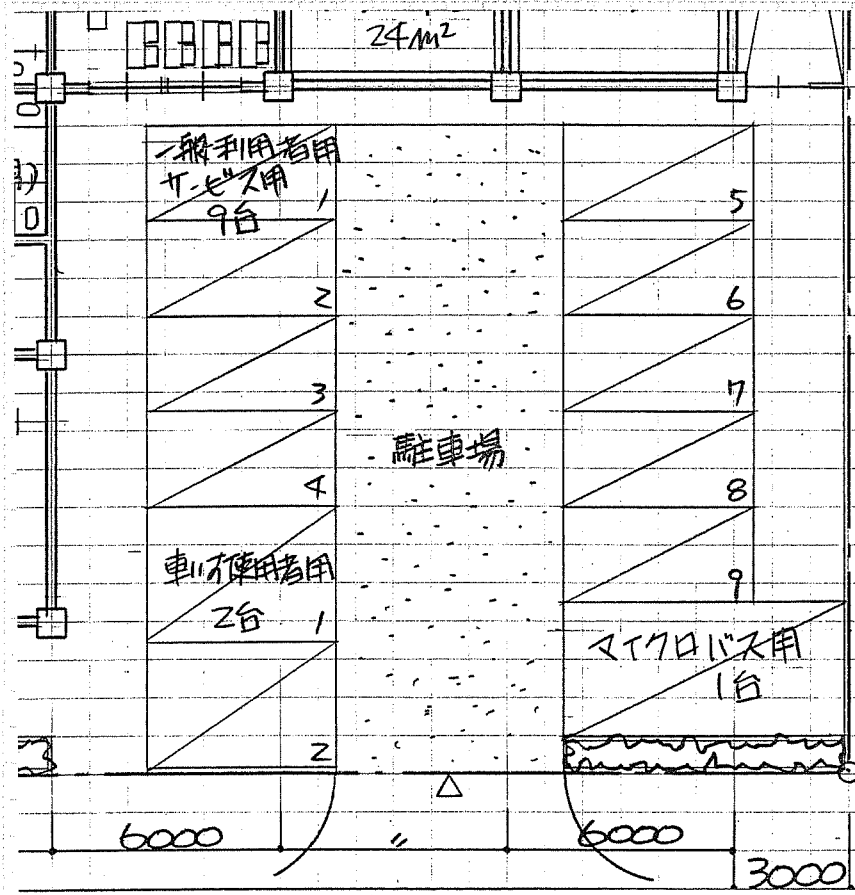


HcP2g+P2g

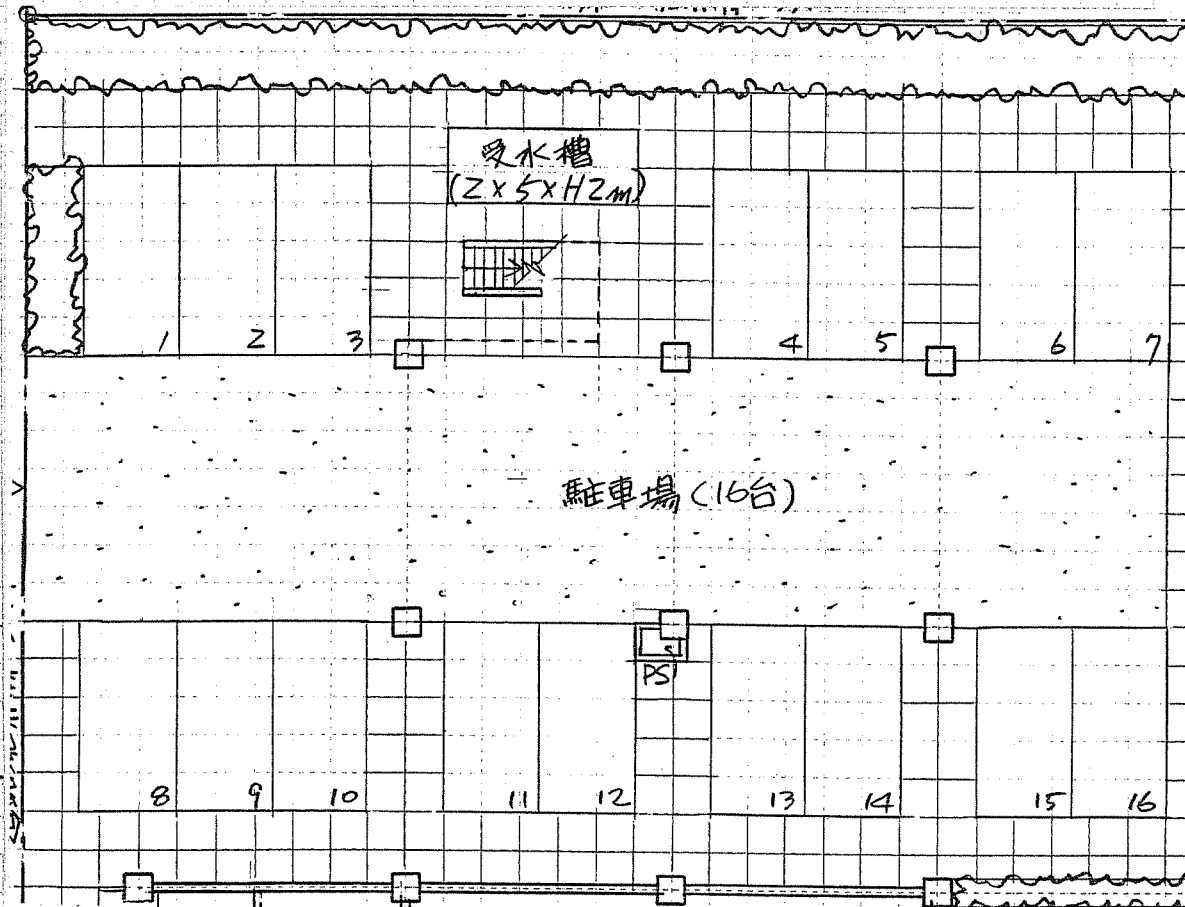


HcP2+P4g

D01: 外構



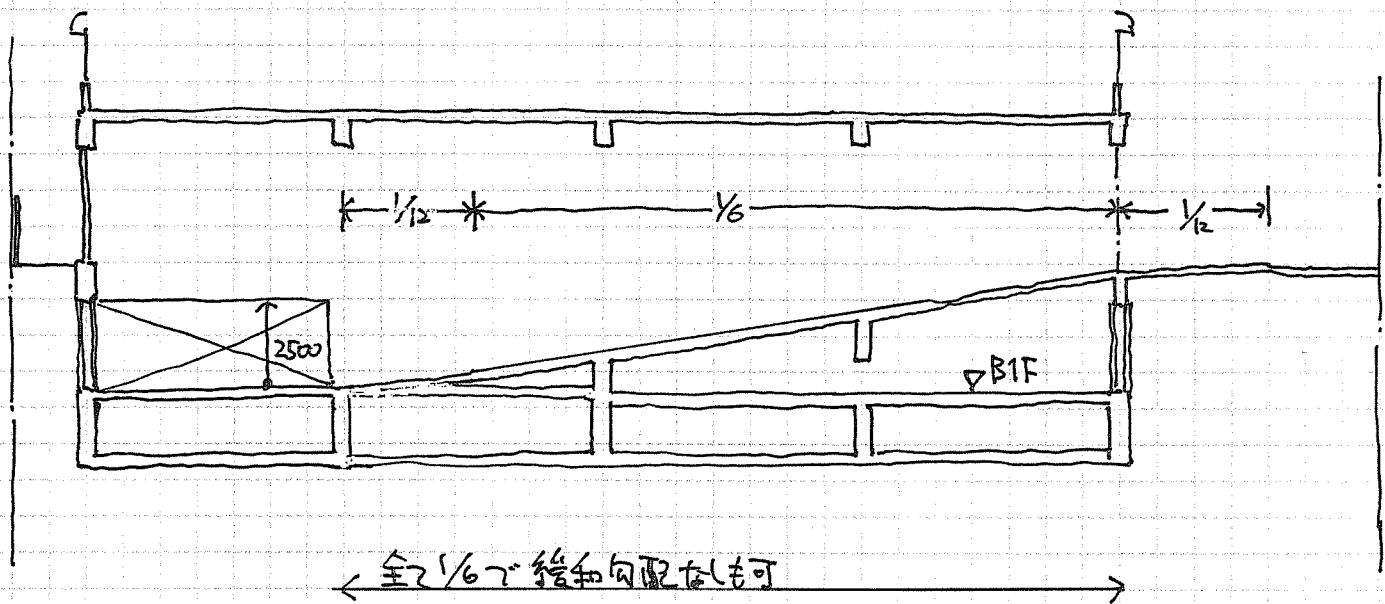
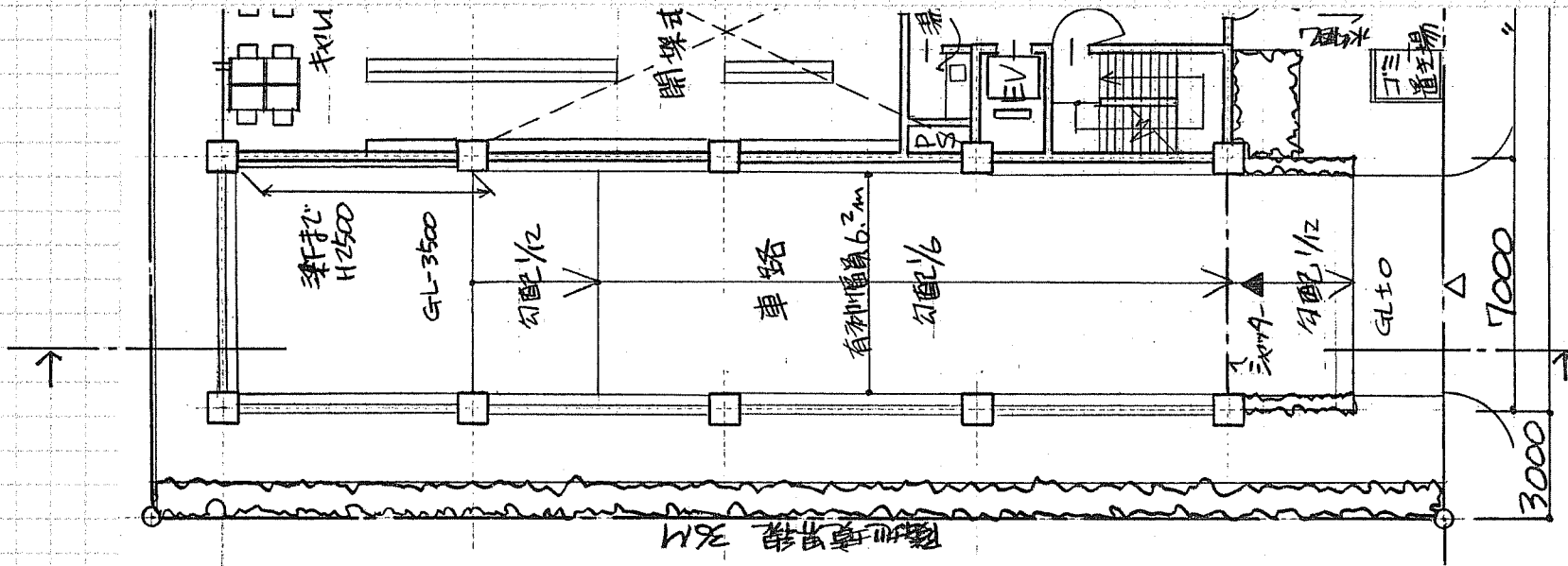
MB1 + HcP2 + P.SP 9台



P.16台
(100%)

D02: 外構



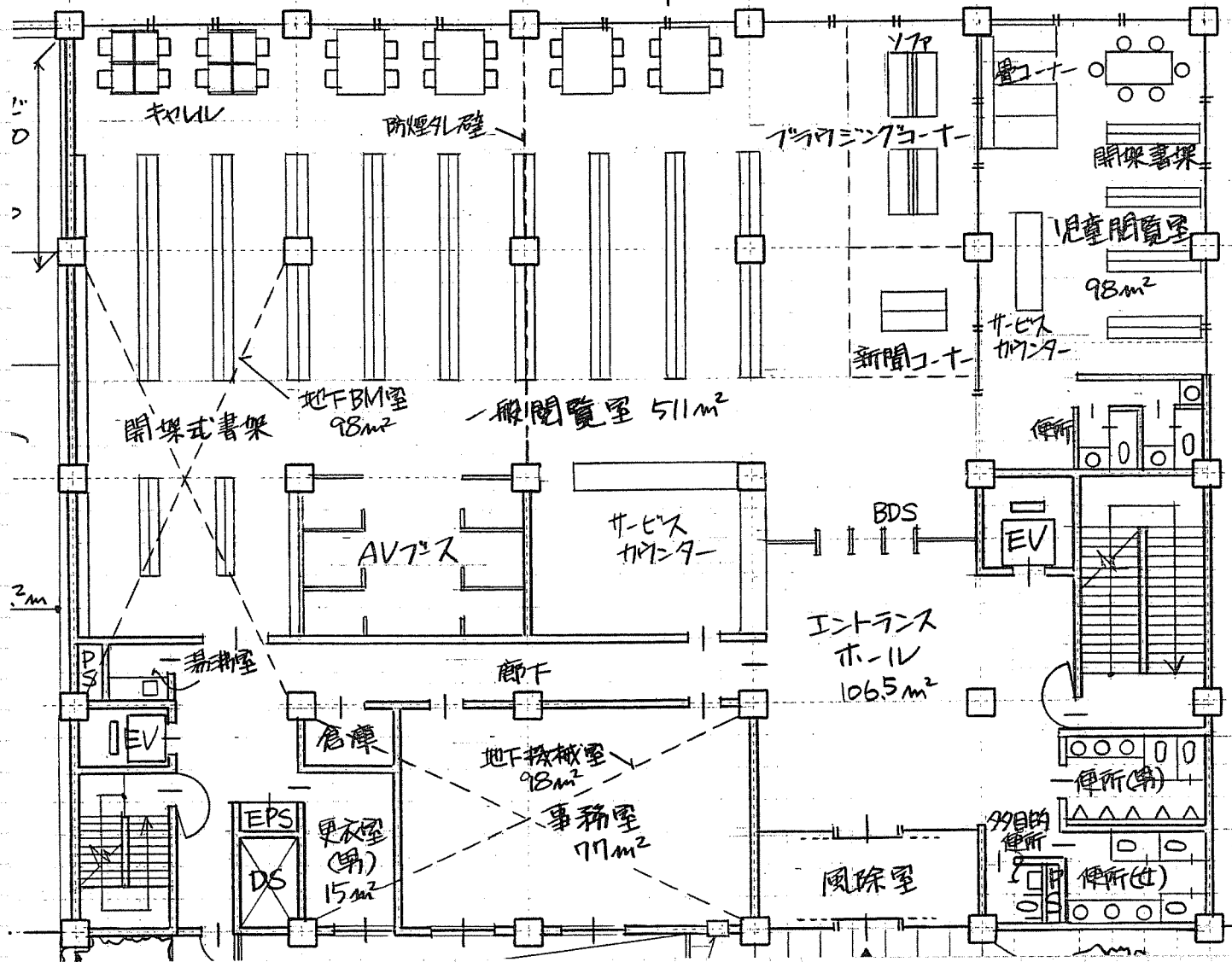


$21m \times \frac{1}{6} = 3.5m$

D03: 外構 (地下斜路)

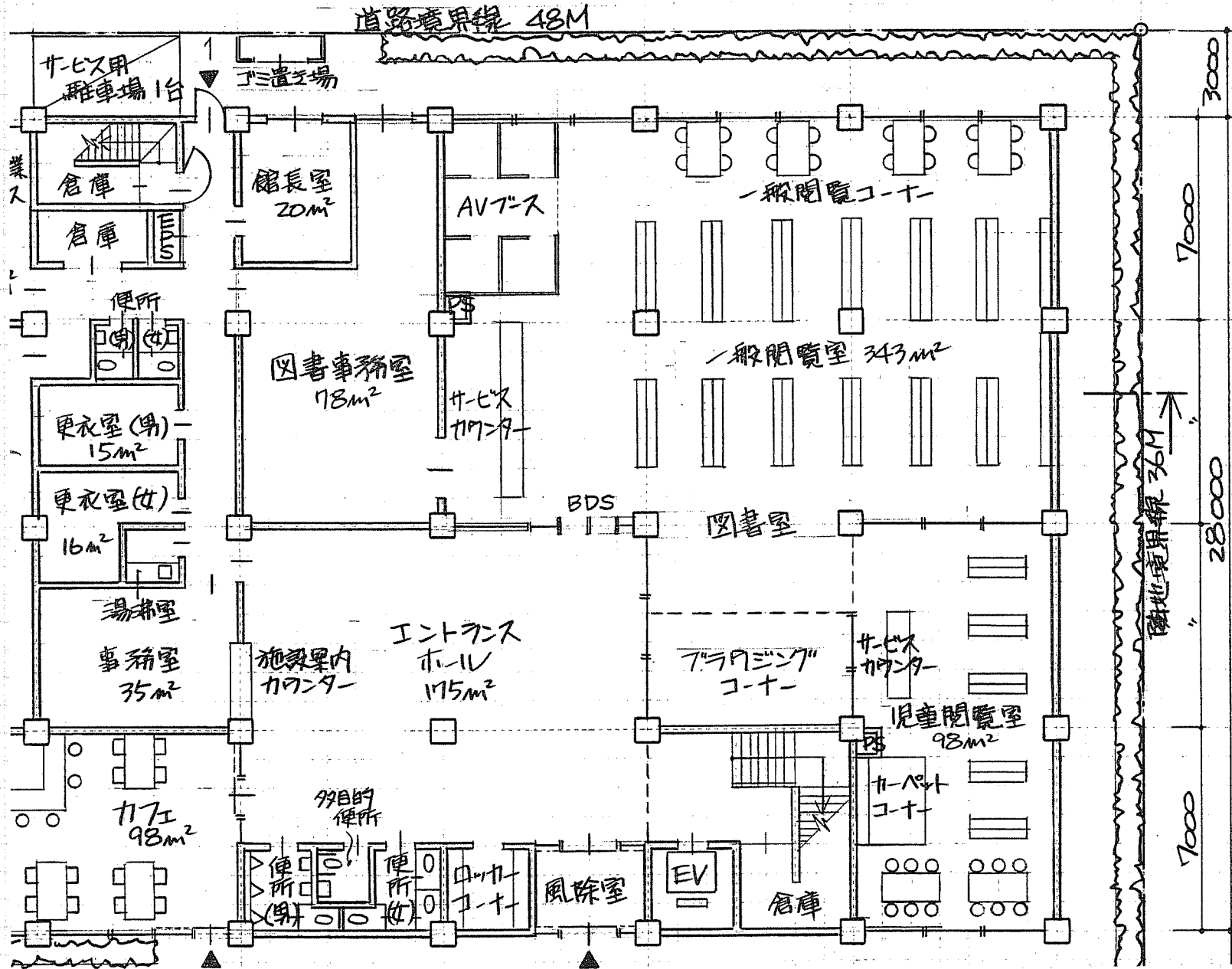


隣地境界線 48M



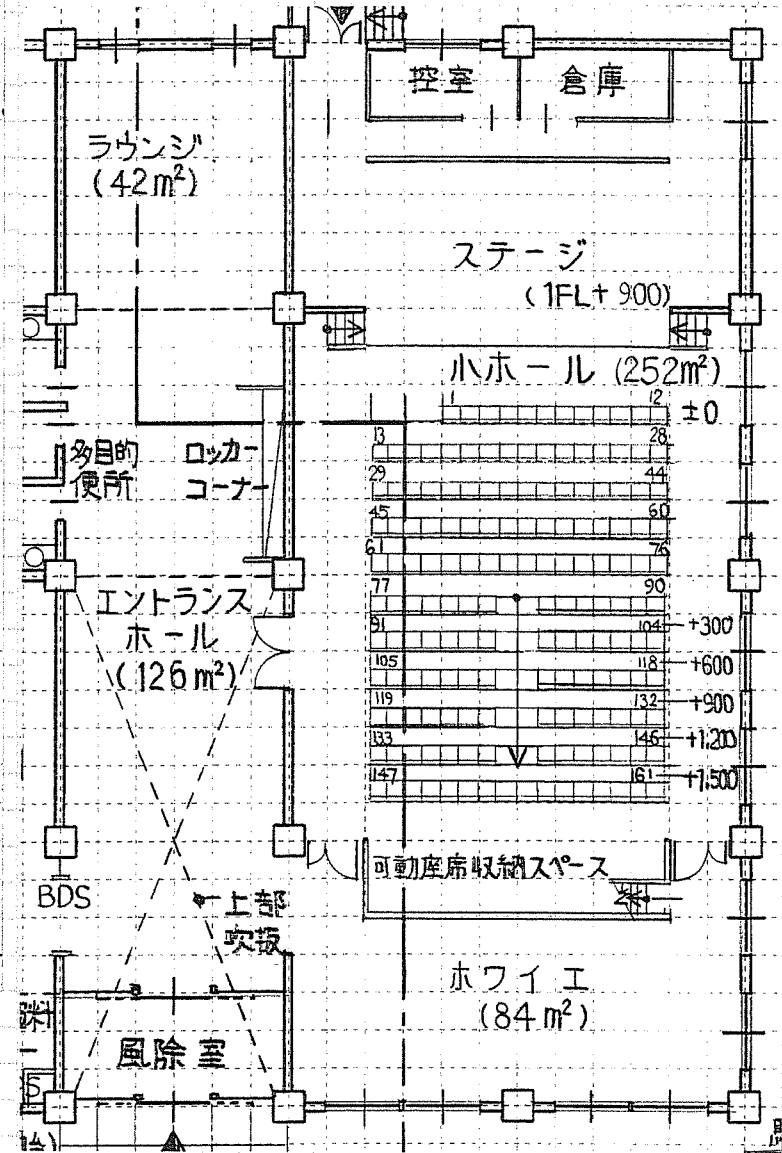
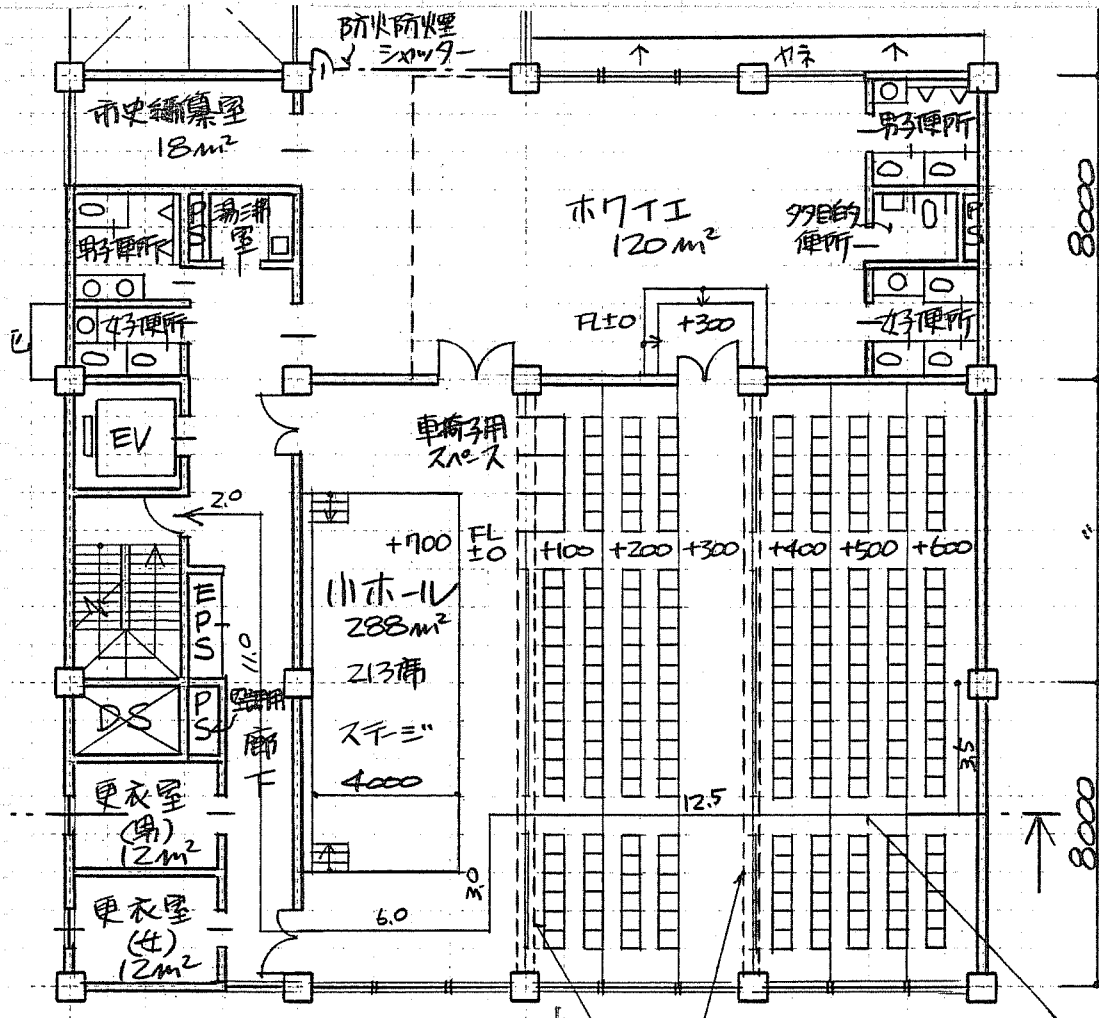
E01:図書室 (特殊1P-17)





E02: 図書室 (特殊10-4)





E03: 小ホール

矩形図 縮尺 1/200

屋根: 押入コンクリート

断熱材

下カサリ断熱材

水根 1/100

伸縮目地

1000

CH=3000

1000

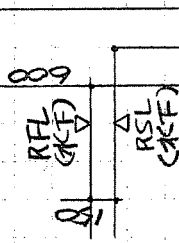
1000

CH=3000

2000

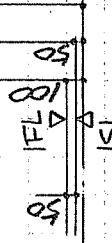
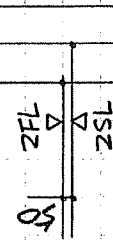
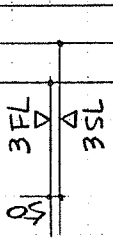
断面図

3階屋上
1階床下



外壁: モルタル金コリ断熱の上、吹付タイル

アルミサッシ (複層ガラス)



アルミ窓木

天井: 軽鉄下地
吸音ボード

壁: 石シボンド
セシール石膏

シート天井室

巾木: ヨウチヨウチ

床: 長尺シート
モルタル下地

天井: 軽鉄下地

モルタル下地

天井: 軽鉄下地
吸音ボード

壁: 石シボンド
セシール石膏

機能訓練室

巾木: ヨウチヨウチ

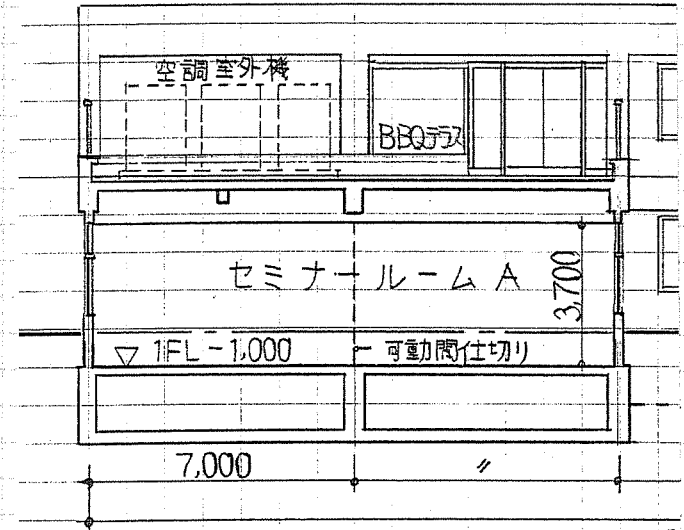
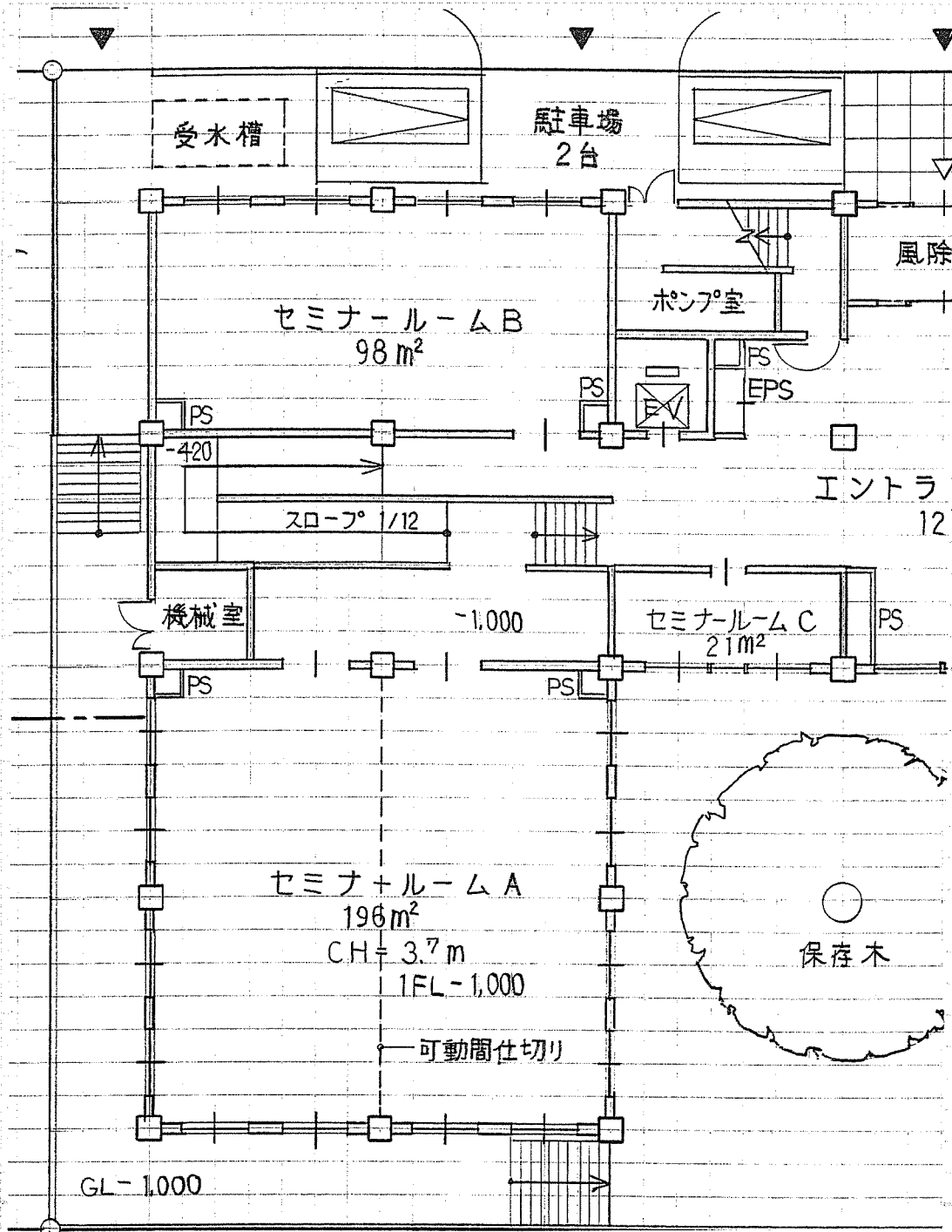
床: 長尺シート
モルタル下地

断熱材

石膏

500 x 1800

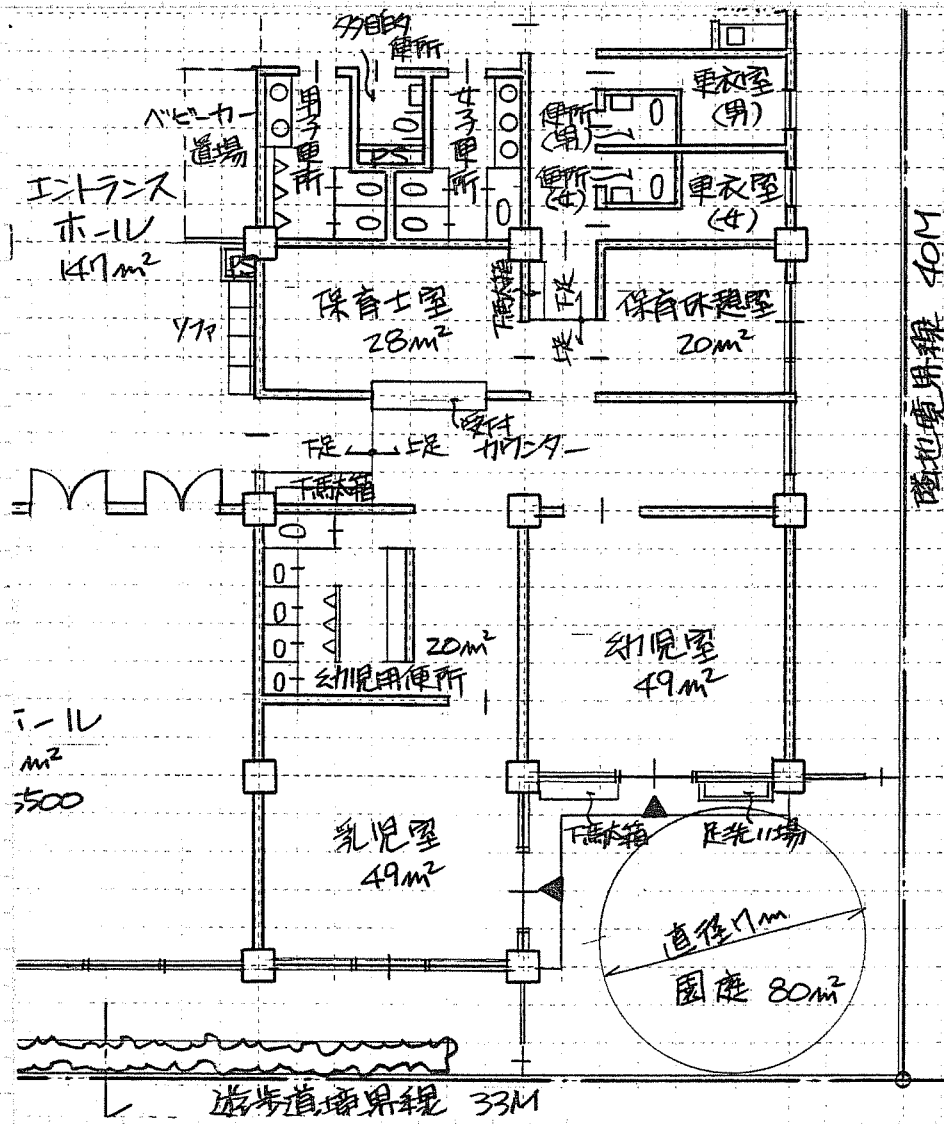
アルミサッシ (複層ガラス)



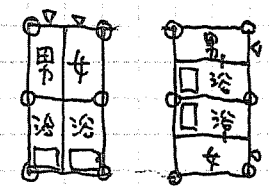
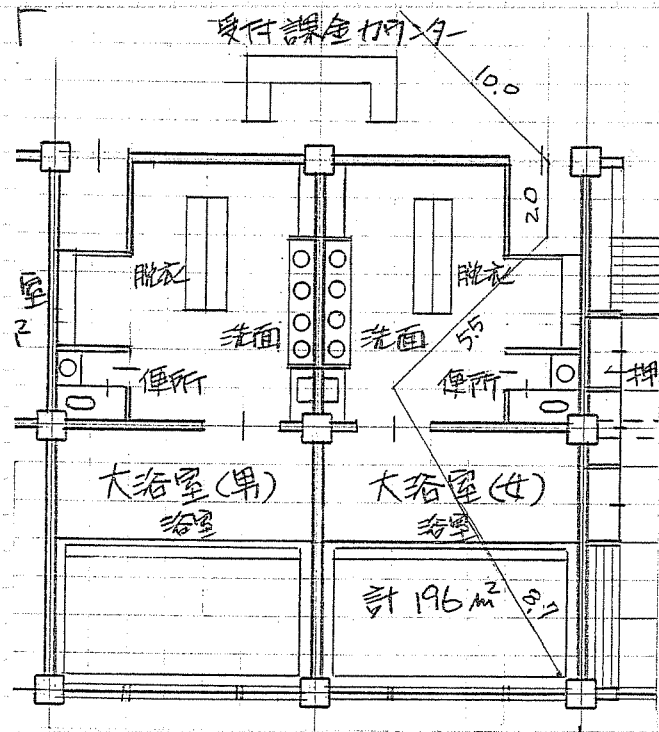
断面図

←スロープ・階段が地中梁とあたらないと!

E05: 1FL-1000 処理

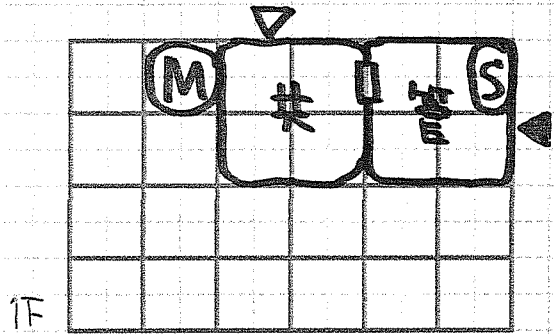


上下分離 4'-27"

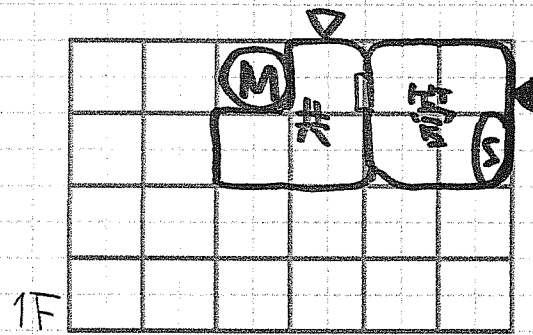


100m² 2分室 196m² 古練習 (2本)!

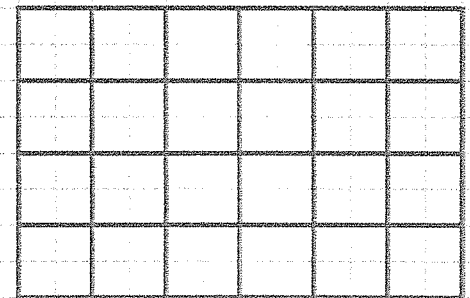
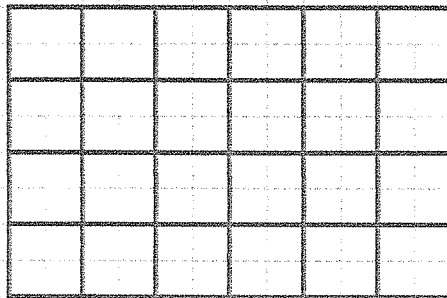
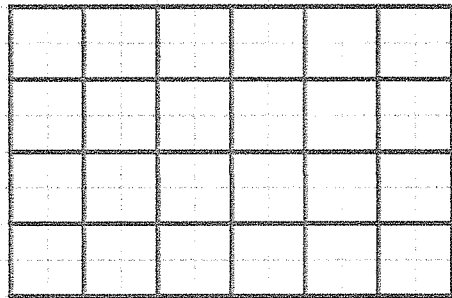
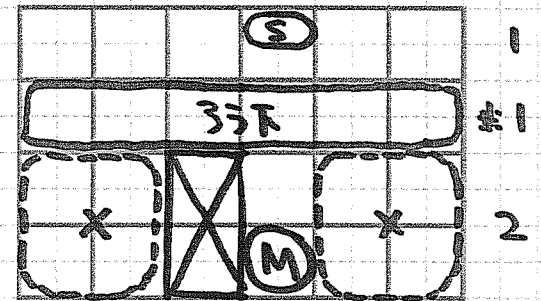
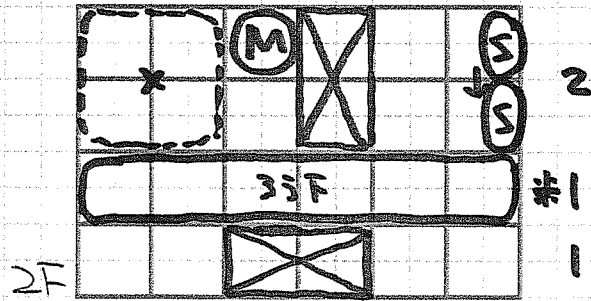
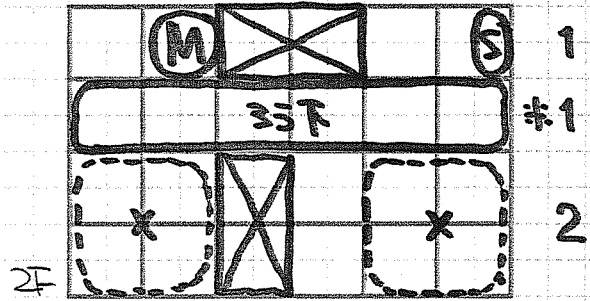
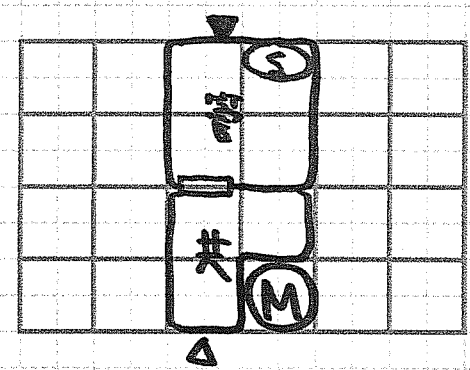
共入1-1-2型



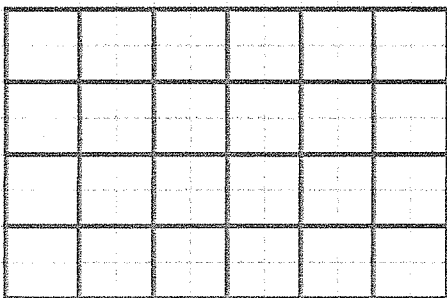
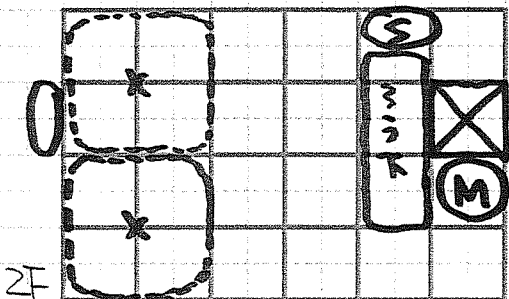
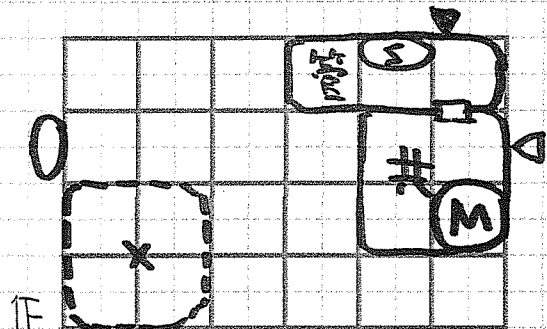
共入2-1-1型



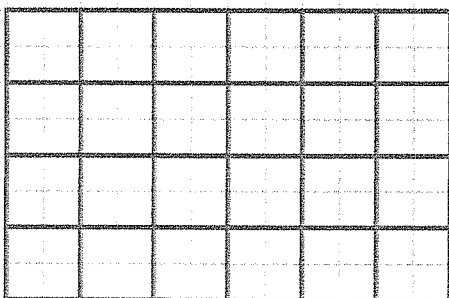
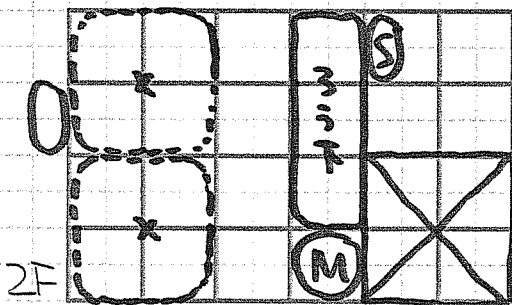
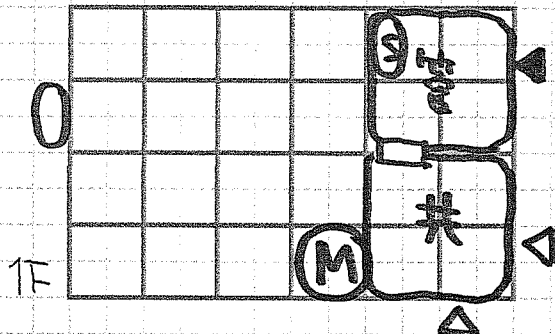
縦型



導入型



コトイン出型



コトイン直型

